

はじめに

岐阜県博物館は、県立の総合博物館として昭和 51 年 5 月に開館して以来、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心にした調査研究・資料収集・保管・展示を行うことで、県民に広く学びの場を提供してまいりました。おかげをもちまして、平成 25 年度で開館 38 年目を迎えます。

岐阜県の学術文化の重要な拠点として、大変多くの皆様にご利用いただきましたことに心から感謝申し上げます。

さて、平成 24 年度は、特別展 3 回、資料紹介展等 3 回、マイミュージアムギャラリー展示 7 回を実施いたしました。夏季に開催した特別展「ジオペディアぎふ ～岐阜の大地から地球史を探る～」(7 月 6 日～9 月 2 日)では、県内から産出した多様な化石・岩石などの資料をもとに、岐阜の大地に刻まれた地球の歴史を紐解きました。郷土のすばらしさを再認識していただく機会となりました。

また、秋季には 2 つの特別展を同時期に開催しました。そのひとつ、「飛騨・美濃の信仰と造形—古代・中世の遺産—」(9 月 21 日～10 月 28 日)では、国宝 3 点を含む県内の神道・仏教に関する文化財を展示し、古代・中世の文化財に込められた人々の祈りと精神に迫りました。もうひとつの「岐阜、染と織の匠たち 人間国宝三人展」(9 月 21 日～11 月 4 日)では、岐阜県出身で人間国宝の染織家、山田貢(友禅)、宗廣力三(紬織・絁織)、土屋順紀(紋紗)の代表作を一堂に紹介しました。これらの特別展では、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会にあわせて来館された皆様をはじめ、県内外の方々に岐阜のすばらしさを認識していただきました。

このほか、資料紹介展「雲の上のお花畑 ～岐阜県の高山植物～」(4 月 14 日～6 月 17 日)、発掘速報展「発掘された飛騨・美濃の歴史」(11 月 17 日～2 月 3 日)、日本自然科学写真協会写真展「自然を楽しむ科学の眼 2012-2013」(2 月 9 日～3 月 17 日)を開催いたしました。

平成 25 年度は、「鏝の美—鏝工・成木一成の挑戦—」において、現在となっては数少ない鏝工である成木一成氏を取り上げ、尾張鏝の地鉄の再現に対する挑戦とその成果である作品を紹介します。また、「弥生大集落—荒尾南遺跡が語るモノと心—」において、荒尾南遺跡(大垣市)の発掘成果から、当時の人々のくらしぶりや精神世界に迫ります。

このほか、企画展、マイミュージアムギャラリー展示、催し物など、広く県民の皆様楽しんでいただける催事を多数計画しております。また、調査研究活動、資料収集保管活動、サポーター協働事業、外部機関との連携といった博物館活動も、より一層充実させるよう努めてまいります。

ここに、平成 24 年度の活動の記録を紹介する「岐阜県博物館報 第 36 号」を刊行いたしました。県民の皆様をはじめ多くの方々にご高覧いただき、当館の更なる発展のためにご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年 4 月 1 日

岐阜県博物館長 後藤 弘之

目 次

はじめに

I 博物館概要

1 設置目的	1
2 基本的性格	
3 基本方針	
4 沿革	2
5 歴代館長名簿	3
6 施設・設備	4

II 平成24年度のあゆみ

1 職員	6
2 岐阜県博物館協議会	7
3 日誌抄	
4 実施事業の概要	8
5 展示活動	
6 調査研究活動	17
7 資料収集活動	21
8 教育普及活動	22
9 利用状況	30
10 博物館関係団体	31

III 利用案内（平成25年度）.....	32
-----------------------	----

I 博物館概要

1 設置目的

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

2 基本的性格

- ・岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学）等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発できるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能を充実させる。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

3 基本方針

(1) 資料収集活動

県内の人文、自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。

常設展示は、人文、自然の2部門に分け、それぞれ総合展示と課題展示を行う。

総合展示は、概説的な内容とし、誰もが親しめる平易な展示とする。

課題展示は、コーナー毎にテーマを設定して、概説にとどまらない、より深く理解するための展示とする。

企画展示は、一定期間に、特定のテーマを設定して年に数本を行う特別展・資料紹介展などがある。

展示は以下の点に留意する。

- ・生涯学習の場として、幅広い年齢層に親しめる

展示

- ・資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示
- ・各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示
- ・できる限り実物資料の展示とするが、図表や模型等の資料も活用した展示
- ・できる限り資料に直接触れることのできる展示
- ・視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
- ・解説が明確で分かりやすい展示
各展示室の主題と内容は、次のとおりである。
- ・人文展示室1（人文総合展示）
主題「郷土のあゆみ」…先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。
- ・人文展示室2（人文課題展示・企画展示）
主題「郷土の民俗と美術工芸」…特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示する。
- ・自然展示室1（自然総合展示）
主題「郷土の自然とおいたち」…郷土の自然の概要を系統的に展示する。
- ・自然展示室2（自然課題展示）
主題「郷土のさまざまな自然」…特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。
- ・特別展示室（企画展示）
資料紹介展などの企画展示を行う。

(3) 調査研究活動

- ・博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

(4) 教育普及活動

- ・展示や博物館資料に関連した教育普及活動を行う。
- ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力を努める。
- ・サポーターとの協働や県民の自主活動の支援事業等を推進する。
- ・マイミュージアムギャラリーを運営し、個人などによって収集・所蔵されているコレクションを公開展示することにより、生涯学習の成果発表の場とするなど、県民文化の向上と交流を図る。

4 沿革

昭和46年3月	岐阜県百年記念事業推進委員会において、博物館の建設を決定	7月	特別展「ふるさとの昆虫」	平成4年3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申	
4月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置	8月	入館者90万人を突破	4月	特別展「飛騨のあけぼの～交流する縄文・古代人～」	
6～9月	博物館懇談会を設ける	10月	学習ビデオスタディーコーナーを設置	7月	特別展「恐竜王国・恐竜～謎とロマン～」	
昭和47年4月	博物館開設準備室を設置 展示委員会を設ける	昭和60年4月	特別展「濃飛の蘭学」	10月	特別展「近世に輝く濃飛の群像」	
昭和48年8月	起上式挙行	7月	特別展「濃飛の縄文時代」	11月	小中学生常設展入館料無料化	
昭和49年3月	展示実施計画樹立	10月	特別展「鉱物の世界」	平成5年3月	入館者150万人を突破	
10月	定礎式	12月	特別展「美濃の刀剣」	4月	特別展「土と炎の芸術」	
昭和50年3月	展示工事着手	昭和61年4月	入館者100万人を突破	9月	29日大型ほ乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘	
7月	本館建築竣工	12月	自然展示室2を改装	10月	特別展「失われゆく植物」	
昭和51年1月	展示工事完了	昭和62年4月	特別展「徳山の四季とくらし」	11月	「ハイパーハイビジョン風土記」イメージシミュレーションソフトの完成	
4月	岐阜県博物館条例公布 岐阜県博物館設置 展示資料等製作完了	7月	特別展「奥飛騨の自然」	平成6年1月	20日マイ・ミュージアム棟起工式	
5月	開館記念式典挙行 一般公開	9月	人文展示室1を改装	3月	大型ほ乳類足跡化石を展示	
7月	「巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」	10月	開館10周年記念式典を挙行	4月	特別展「川に生きる～水運と漁労～」	
7月	皇太子・同妃殿下行啓	開館10周年記念展「ふるさとの祭り」	7月	特別展「外国から侵入した生きものたち」	8月	恐竜の歯等荘川村で発見
8月	特別展「ふるさとの文楽」	昭和63年1月	特別展「飛騨の弥生時代」	10月	特別展「美濃山地の自然」	
10月	入館者10万人を突破	4月	入館者110万人を突破	10月	入館者160万人を突破	
昭和52年5月	特別展「日本伝統工芸秀作展」	7月	特別展「飛騨の匠」	12月	ユタ州訪問（花フェスタ'95展示化石の借用、交流の推進）	
7月	入館者20万人を突破	10月	特別展「飛騨の匠」	平成7年3月	マイ・ミュージアム棟工事の完成	
11月	特別展「熊谷守一展」	昭和63年4月	特別展「飛騨の古墳時代」	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行美濃路編ソフト完成」		
昭和53年4月	特別展「濃飛の甲冑」	7月	特別展「ふるさとの野鳥」	4月	特別展「岐阜の淡水魚」	
7月	特別展「世界のコガネムシ」	8月	16日恐竜足跡化石白川村で発見	7月	花フェスタ'95にユタ州恐竜化石を展示	
10月	特別展「能面と装束」	10月	特別展「移ろいゆく年中行事」	マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典挙行 一般公開		
昭和54年4月	入館者40万人を突破	11月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」4,000冊の寄贈を受ける	8月	恐竜ゼミナールGIFU'95	
7月	特別展「世界の貝」	平成2年4月	特別展「輪中と治水」	10月	特別展「美濃・飛騨の古代史発掘～律令国家の時代～」	
10月	特別展「濃飛の文人」	7月	特別展「白山の自然」	入定三百年記念「円空展」（名古屋市と共催）		
11月	「視覚障害者コーナー」開設	昭和55年4月	恐竜足跡化石レプリカ除幕式	県下第1号として「マルチメディア工房ぎふ」開設		
昭和55年4月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」	5月	グリーンアドベンチャー標識設置（自然観察のみち）	11月	円空シンポジウム「世界における円空」	
5月	入館者50万人を突破	岐阜県博物館協議会に「新しい時代・県民ニーズに対応できる博物館の在り方について」諮問	岐阜県博物館協議会から中間答申	平成8年4月	高校生常設展入館料無料化	
7月	特別展「化石の世界」	昭和56年4月	特別展「ふるさとの昆虫」	5月	入館者170万人を突破	
10月	特別展「叢虫山人」	5月	入館者60万人を突破	7月	開館20周年記念展「恐竜のふるさとユタ」	
昭和56年4月	特別展「美濃の絵馬」	7月	特別展「御岳山は生きている」	8月	アメリカ合衆国ユタ州ブリガムヤング大学付属地球科学博物館と友好提携調印式挙行	
5月	入館者60万人を突破	10月	特別展「ふるさとの美濃古陶」	10月	飛騨美濃合併120周年記念展「岐阜県の明治維新」	
7月	特別展「御岳山は生きている」	12月	岐阜県博物館協議会から中間答申	11月	飛騨美濃合併120周年記念	
昭和57年4月	特別展「高賀山の信仰」	平成3年3月	岐阜県博物館案内標識を設置			
7月	入館者70万人を突破	4月	特別展「ふるさとの木の文化」			
10月	特別展「ふるさとの植物」	7月	特別展「ふるさとの哺乳動物」			
昭和58年4月	特別展「東洋の貨幣」	10月	置県120年・岐阜鹿兒島姉妹県盟約20周年記念展「鹿兒島～その自然と歴史～」			
4月	特別展「岐阜県の考古遺物」	11月	入館者140万人を突破			
5月	入館者80万人を突破					
7月	特別展「長良川」					
10月	特別展「郷土の生んだ先覚者」					
昭和59年4月	特別展「濃飛の戦国武将」					

	念「文化講演会」 講師 作家 阿川弘之氏 作家 山田智彦氏	11月	入館者 200 万人を突破	5月	「緑いきいき！岐阜の森」 開館 30 周年記念植樹
平成 9 年 3 月	ハイパーハイビジョン風 土記「ひだ・みの紀行」 中山道編ソフト完成	平成 13 年 7 月	特別展「あのころいた鳥 ～そういえばトキもおっ たげな～」		モリゾー・キッコロ来館 全国植樹祭中濃サテライ ト会場～来館者全員招待 入館～
4 月	特別展「花と鳥のイ リュージョン～江戸の学 問と芸術～」	9 月	特別展「七代目団十郎と 国貞、国芳～芝居、錦絵、 中山道～」	8 月	入館者 240 万人を突破 飛騨美濃合併 130 周年 記念行事博物館 1 日無料 開放
9 月	特別展「葉草のふるさと 伊吹」	11 月	ハイビジョン静止画番組 「石ころの動物園」(マ イユーリアムギャラ リー)	9 月	飛騨美濃合併 130 周年 記念特別展「錦絵が語る 美濃と飛騨」
11 月	入館者 180 万人を突破 棚橋賞受賞「岐阜県博物 館“マイ・ミュージアム” ～来るべき世紀の新しい 博物館を目指して～」 財団法人日本博物館協会 表彰	平成 14 年 2 月	全国ハイビジョン手づく りソフトフェスタ 2001 グランプリ受賞	11 月	文化の日博物館無料開放
平成 10 年 3 月	ハイパーハイビジョン風 土記「ひだ・みの紀行」 飛騨街道・郡上街道編ソ フト完成 アロサウルス骨格標本展 示	3 月	NEDO 共同研究事業太 陽光発電システム完成	平成 19 年 7 月	特別展「恐竜と生命の大 進化～中国雲南 5 億年の 旅～」
4 月	ハイパーハイビジョン風 土記「ひだ・みの紀行」 完成記念事業：風土記 フォーラム「マルチメ ディアで調べる岐阜の魅 力」	4 月	特別展「温泉展～湯の華 からのメッセージ～」	9 月	特別展「発掘された日本 列島 2007～新発見考古 速報展～」
7 月	特別展「つづつのかぶと むし」	5 月	入館者 210 万人を突破	10 月	入館者 250 万人を突破
9 月	特別展「能面へのいざな い～白山山麓から～」	10 月	特別展「中山道街道 400 年」	11 月	文化の日博物館無料開放
平成 11 年 7 月	特別展「恐竜時代～モン ゴルと手取層群の恐竜た ち～」	平成 15 年 7 月	特別展「昭和くらしの歩 み～30 年代を中心に～」	平成 20 年 5 月	日本生命財団から図書 「岐阜県博物館総合案内」 3, 800 冊の寄贈を受け る
9 月	入館者 190 万人を突破 特別展「恐竜時代」	9 月	特別展「野の幸・山の幸、 岐阜～発見！キノコと山 菜、葉草の魅力～」	9 月	特別展「骨のあるやつ」
10 月	特別展入館者 4 万人突破 特別展「水とまつり～古 代人の祈り～」 特別陳列「円空展～魂を 木に刻んで～」	平成 16 年 7 月	10 月 入館者 220 万人を突破 特別展「タイムトラベル 石器時代～大昔はどんな くらしをしていたの？ ～」	11 月	文化の日博物館無料開放
平成 12 年 7 月	特別展「海を越えた明治 ～ヨーロッパが愛した焼 き物の美～」	9 月	特別展「里山ミュージア ム～ドングリころころオ オタカびゅーん～」	平成 21 年 9 月	特別展「人、和して楽し む～岐阜の文楽～」
9 月	特別展「すばらしき東濃 の自然、再発見～巨大ヒ ノキが見てきた生き物た ち～」	平成 17 年 4 月	入館者 230 万人を突破 特別展「線路はつづくよ ～岐阜、鉄道のあゆみ～」	10 月	入館者 260 万人を突破
		7 月	特別展「タイムトラベル 石器時代～大昔はどんな くらしをしていたの？ ～」	11 月	文化の日博物館無料開放
		9 月	特別展『「名水・温泉・ 名勝」展～水と大地の ハーモニー～」	平成 22 年 7 月	特別展「川・カワ・イイ ね！～流れが作り出す 自然～」
		平成 18 年 4 月	開館 30 周年記念式典挙 行 開館 30 周年記念特別展	11 月	文化の日博物館無料開放
				平成 23 年 9 月	文化の日博物館無料開放 開館 35 周年記念特別展 「濃尾震災 120 年」
				11 月	文化の日博物館無料開放 入館者 270 万人を突破
				平成 24 年 7 月	特別展「ジオペディアぎ ふ」
				9 月	特別展「飛騨・美濃の信 仰と造形」
				11 月	特別展「岐阜、染と織の 匠たち」
					文化の日博物館無料開放

5 歴代館長名簿

	在職期間 (年度)	氏 名		在職期間 (年度)	氏 名
1	昭和 51 年	小 幡 忠 良	12	平成 9 年 ～ 平成 10 年	高 田 晃
2	昭和 52 年 ～ 昭和 54 年	松 尾 克 美	13	平成 11 年 ～ 平成 12 年	遠 藤 祐 神
3	昭和 55 年 ～ 昭和 56 年	大 橋 桃之輔	14	平成 13 年 ～ 平成 14 年	高 橋 宏 之
4	昭和 57 年 ～ 昭和 58 年	吉 本 幹 彦	15	平成 15 年 ～ 平成 16 年	武 山 柁 司
5	昭和 59 年	関 谷 美智男	16	平成 17 年	下 畑 五 夫
6	昭和 60 年 ～ 昭和 61 年	廣 田 照 夫	17	平成 18 年	古 川 和 明
7	昭和 62 年 ～ 昭和 63 年	森 崎 利 光	18	平成 19 年 ～ 平成 20 年	高 屋 一 行
8	平成元年 ～ 平成 2 年	伊 藤 秀 幸	19	平成 21 年	浅 野 裕 司
9	平成 3 年 ～ 平成 4 年	篠 田 幸 男	20	平成 22 年	石 田 克
10	平成 5 年 ～ 平成 6 年	横 山 勢 津 男	21	平成 23 年 ～ 平成 24 年	河 合 正 明
11	平成 7 年 ～ 平成 8 年	清 水 廣 美	22	平成 25 年 ～	後 藤 弘 之

主要室（名称及び面積）

本館	室名	面積 (㎡)	マイ・ミュージアム	室名	面積 (㎡)
2階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0			
	第3収蔵庫	192.0			
	第4収蔵庫	99.4			
	第5収蔵庫	55.0			
3階	自然展示室1	583.8	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫室	202.3 25.3 18.5
	自然展示室2	478.8			
	郷土学習室	95.4			
	講修室	174.5			
	第6収蔵庫	142.8			
4階	人文展示室1	942.3	3階	ハイビジョンホール室	192.3 47.0
	人文展示室2	478.8			
	特別展示室	193.2			
	図書資料室	232.2			
	特別収蔵庫	142.8			
本館合計		4,344.3	マイ・ミュージアム棟合計		842.7

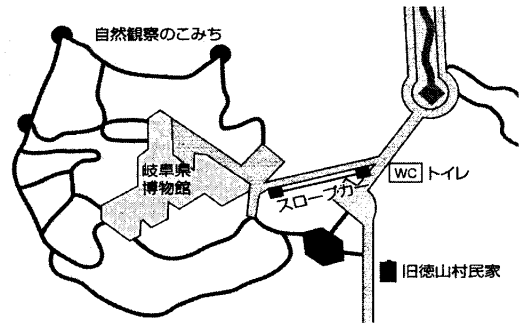
(2) 館外施設

① 自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約 830mで、途中見晴らし台が 3 か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、樹木に Q&A パネルを設置している。

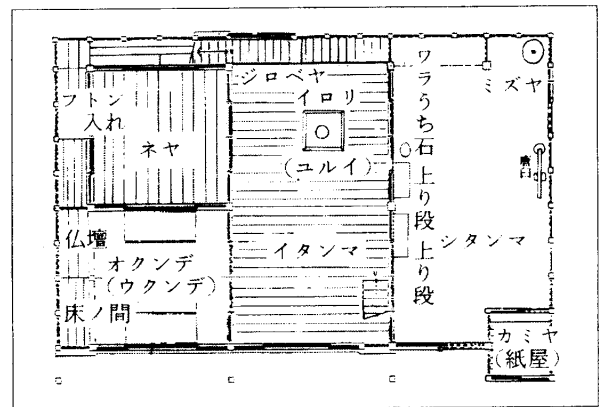


自然観察のこみち

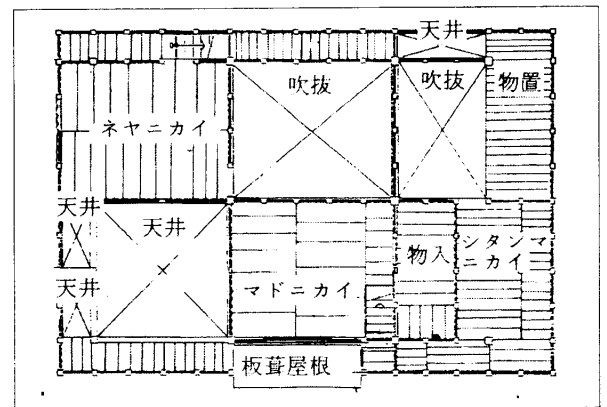
② 旧徳山村家

徳山ダム建設計画に伴い、徳山村は閉村となり揖斐川町になったが、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和 62 年 10 月 7 日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料開放している。なお、平成 13 年 9 月、茅葺屋根の一部葺き替えを実施した。

- ・様式：木造かやぶき 2階建、南平入り
- ・主材：ブナ、トチ
- ・建面積：120.97 ㎡
- ・延面積：197.48 ㎡
- ・間取り：右図参照
- ・建築年代：幕末から明治初年ごろと推定
- ・屋根：入母屋、切り落とし窓つき



▲ 1階間取り図



▲ 2階間取り図

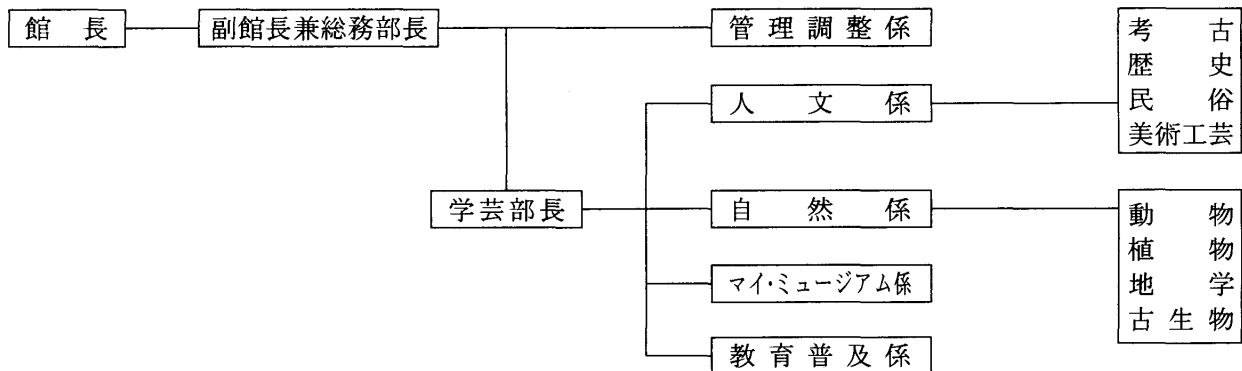


旧徳山村家

II 平成24年度のあゆみ

1 職員

(1) 機構



(2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	河合正明	【学芸部】		[マイミュージアム係]	
副館長兼総務部長	宮腰哲也	学芸部長	豊田文秀	課長補佐	加藤信男
【総務部】		[人文係]		〃	河合清太
[管理調整係]		課長補佐(歴史)	山田昭彦	[教育普及係]	
課長補佐	田中実	〃(考古)	長屋幸二	課長補佐	酒井立人
主査	杉山真弓	主査(民俗)	南本有紀	〃	平澤啓介
主任	野村高広	主任(美術工芸)	守屋靖裕	主査	澤村雄一郎
〃	尾関睦治	[自然係]		学芸業務専門職	石井昭司
管理業務専門職	中塩優子～10.31	課長補佐(地学)	西谷徹	〃	野田恵光
〃	藤田敦子	〃(植物)	船戸智		
〃	米倉響子	主査(動物)	説田健一		
〃	中嶋睦美	学芸業務専門職(古生物)	久保貴志		
〃	福島江里菜				
〃	堀奈葵穂				
〃	阿部奈津希 11.1～				
雇員	名知佐和子				

(3) 異動

転出者	副館長兼総務部長	加藤英夫	転入者	副館長兼総務部長	宮腰哲也
学芸部長	大澤洋司	学芸部長	豊田文秀	学芸部長	豊田文秀
課長補佐	竹村宗近	課長補佐	平澤啓介	課長補佐	平澤啓介
〃	後藤秀樹	〃	河合清太	〃	河合清太
主任	野田路世	主査	杉山真弓	主査	杉山真弓
管理業務専門職	米田美里	管理業務専門職	堀奈葵穂	管理業務専門職	堀奈葵穂
〃	中塩優子	〃	阿部奈津希	〃	阿部奈津希

2 岐阜県博物館協議会

岐阜県博物館協議会は、博物館法及び岐阜県博物館条例に基づいて設置されている機関で、岐阜県博物館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。委員は次のとおりである。

氏名	現職名
清田善樹	岐阜聖徳学園大学教育学部教授
後藤真澄	中部学院大学人間福祉学部教授
◎古屋康則	岐阜大学教育学部准教授
三摩真己	NHK岐阜放送局長
杉下一二美	岐阜県PTA連合会母親委員
高木俊徳	岐阜放送報道制作局長
高木洋	日本考古学協会会員
長瀬秀子	岐阜県小中学校長会会員 関市立瀬尻小学校長
野口宏	中日新聞岐阜支社長
森部絢嗣	公募委員
安田たか子	安田学園虹ヶ丘幼稚園長
山田京子	岐阜県博物館友の会理事

◎会長 (平成25年3月9日現在 五十音順・敬称略)
任期は平成24年9月24日から平成26年9月23日

(開催状況)

月日 11月1日(木)
場所 岐阜県博物館 講堂
議題

○報告事項

- (1) 岐阜県博物館の概要について
- (2) 改修・修繕工事について
- (3) 博物館の活動について

○協議事項

- (1) 岐阜県博物館の運営について
～入館者数を増やす方策について～
- (2) 平成25年度、26年度の特別展等について

○主な提案

- ・博物館活動及び広報活動の工夫に関すること
- ・学校、サポーター、他の博物館等との連携に関すること

3 日誌抄

- | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 4. 1 人事異動に伴う辞令交付 | 22 現地観察会「乗鞍 高山植物観察会」 | 21 家族で秋の里山ウォッチング |
| 1 NIPPON CLOCK展 | 28 家族でナイトウォッチング | 21 特別展記念講演会「岐阜県の仏画」 |
| ～関で生まれた古時計100台～(～5/13) | 29 古文書入門(2) | 28 古文書入門(3) |
| 1 ゼンマイ時計の修理実演(1) | 8. 4 特別展記念講演会「化石の宝庫瑞浪」 | 11. 3 わくわく体験「秋まつり」 |
| 8 ゼンマイ時計の修理実演(2) | 5 講演会「駅員だった私が鉄男になってしまった」 | 3 ウッド・レザーバーニング体験(1) |
| 14 資料紹介展「雲の上のお花畑～岐阜県の高山植物～」(～6/17) | 5 鉄道模型制作実演(2) | 4 ウッド・レザーバーニング体験(2) |
| 15 家族で春の里山ウォッチング | 11 火おこし器をつくろう | 11 化石クリーニング講座(上級③) |
| 15 骨のかたちから生きざまを探る(7) | 12 おもしろく動くからくり木工 | 17 発掘速報展「発掘された飛騨・美濃の歴史」(～2/3) |
| 18 里山ウォッチング | 12 鉄道模型制作実演(3) | 18 徳山のくらしを体験しよう |
| 22 化石クリーニング講座(初級①) | 15 里山ウォッチング | 21 里山ウォッチング |
| 28 まが玉をつくろう | 18 化石クリーニング講座(中級①) | 23 ウッド・レザーバーニング体験(3) |
| 29 謡曲入門 | 19 化石クリーニング講座(中級②) | 24 まが玉をつくろう |
| 30 木でこいのぼり・五月人形をつくろう | 25 化石クリーニング講座(中級③) | 25 木で来年の干支(巳)をつくろう |
| 5. 3 化石のレプリカをつくろう | 25 おもしろく動く恐竜・動物づくり | 12. 8 達磨絵ひょうたん展(～1/27) |
| 4 春のグリーンアドベンチャー | 26 化石クリーニング講座(中級④) | 9 ウッドバーニング |
| 5 ゼンマイ時計の修理実演(3) | 9. 1 パッチワークキルト夫婦展(～10/8) | クリスマスリースをつくろう |
| 6 古文書入門(1) | 8 パッチワークミニタペストリーをつくろう(1) | 16 化石クリーニング講座(上級③) |
| 13 現地観察会「土岐川で化石採集」 | 15 パッチワークミニタペストリーをつくろう(2) | 19 里山ウォッチング |
| 16 里山ウォッチング | 16 化石クリーニング講座(上級①) | 23 ウッドバーニング |
| 20 化石クリーニング講座(初級②) | 17 おいでよ!博物館 | お正月リースをつくろう |
| 26 犬山焼 大皿展(～7/1) | 19 里山ウォッチング | 1. 5 春の七草ウォッチング |
| 27 魚の捕り方教えます～ビオトープの魚調べ～ | 21 特別展「飛騨・美濃の信仰と造形—古代・中世の遺産—」(～10/28) | 6 七草がゆを食べよう |
| 6. 3 化石のペーパーウェイトをつくろう | 21 特別展「岐阜、染と織の匠たち、人間国宝三人展」(～11/4) | 16 里山ウォッチング |
| 9 わくわく体験「菖蒲まつり」(1) | 23 出展作家によるギャラリートーク | 27 津保川でカモを観察しよう |
| 10 わくわく体験「菖蒲まつり」(2) | 30 講座「岐阜のほとけたち」特別展版 | 2. 9 日本自然科学写真協会写真展「自然を楽しむ科学の眼 2012-2013」(～3/17) |
| 17 化石クリーニング講座(初級③) | 10. 7 化石クリーニング講座(上級②) | 9 心をつなぐ絵手紙展(～3/20) |
| 17 楽しい折り紙教室 | 8 木の実で遊ぼう | 9 ネームプレートをつくろう(1) |
| 20 里山ウォッチング | 14 横蔵寺拝観会 | 9 ネームプレートをつくろう(2) |
| 24 蝶の羽の模様を写し取ろう | 14 特別展記念講演会「山田貢と岐阜」 | 10 ネームプレートをつくろう(3) |
| 30 おいでよ!博物館 | 17 里山ウォッチング | 10 ネームプレートをつくろう(4) |
| 7. 1 家族で昆虫標本をつくろう | 20 ウッドバーニング | 17 家族で冬の里山ウォッチング |
| 6 特別展「ジオベディアぎふ～岐阜の大地から地球史を探る～」(～9/2) | ～木と革の焼き絵アート～(～11/25) | 20 里山ウォッチング |
| 8 化石クリーニング講座(初級④) | 20 わくわく体験 | 23 古布で布絵をつくろう(1) |
| 14 鉄道コレクション今昔物語展(～8/19) | 21 わくわく体験 | 23 古布で布絵をつくろう(2) |
| 14 鉄道模型制作実演(1) | 「オータムフェスティバル」(1) | 3. 3 小枝で絵手紙を描こう |
| 15 家族で夏の里山ウォッチング | 「オータムフェスティバル」(2) | 10 古文書入門(4) |
| 18 里山ウォッチング | | 17 百年公園の自然調査報告会 |
| 21 特別展記念講演会「最古の石発見記」 | | 20 里山ウォッチング |
| | | 24 おいでよ!博物館 |

4 実施事業の概要

「県民が郷土の自然・歴史・文化を理解し、未来を展望することにより、ふるさとに一層の親しみと誇りがもてる博物館を目指します」を平成 24 年度の運営の方針として、特別展や資料紹介展などの企画展、マイミュージアムギャラリー展示を開催した。その他、参加体験型の教育普及事業として 89 回の催事、学芸員による出前授業や講師派遣など多くの事業を展開した。特別展の開催回数については、平成 20 年度から平成 23 年度までは 1 回であった。しかし、平成 24 年度については岐阜県で「ぎふ清流国体」「ぎふ清流大会」が開催されたこともあり、特別展は 3 回行うことができた。特に、国体の会期に合わせて実施した秋季特別展 2 本は、国宝や重要文化財、人間国宝の作品などを多数展示する今までにない規模のものとなり、岐阜県の素晴らしさを広く発信することができた。

(1) 展示活動

特別展・資料紹介展・マイミュージアムギャラリーの展示を下表のとおり実施した。

(2) 調査研究活動

人文分野では、企画展に関連した岐阜県の遺物・遺跡、神道・仏教に関する文化財及び岐阜県出身で染織家の人間国宝について調査研究を行った。また、平成 25 年度特別展関連の荒尾南遺跡に関する調査も

実施した。自然分野では、企画展に関連した高山植物、地質関係、及び百年公園を中心とした里山についての調査研究を行った。モニタリングサイト 1000 里地調査も継続して行った。マイ・ミュージアムでは、当館収蔵品と図書館の蔵書のデータベースの構築を行った。また、マイミュージアムギャラリー出展作品の調査研究や出展者の新規開拓を行った。

(3) 資料収集活動

人文分野では、県内の石器等これまで寄託とされていた資料の寄贈を受けるとともに、娘義太夫資料などの民俗資料を収集した。自然分野では、県内外の自然資料の寄贈を受けるとともに、化石等の資料を採集した。

(4) 教育普及活動

わくわく体験コーナーでは、毎週日曜日に開催することの周知と魅力的な体験メニューの開発により、毎週大盛況の利用があった。

団体等の利用では、学校向けの生活科・社会科・理科の学習プログラムの利用が多かった。昨年度開発した学習プログラムに博物館サポーターの支援を得て、学びに深まりを生むことができた。

博物館サポーターの活動では、従来あった活動内容を明確にすることとサポーターへの周知をねらい、8つの活動グループを設けて運営した。多数のサポーターが参加し、資料収集・調査研究・展示・教育普及のそれぞれの活動を支援した。

5 展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常設展	年 間	人文関係では、人文展示室 1 及び 2 の可変展示コーナーや独立ケースの展示替えを約 20 回行った。昭和の居間再現コーナーでは季節感を出す展示替えを行い、未陳収蔵資料の紹介に努めた。また、人文展示室 1 の第 20 回岐阜国体の資料について紹介するコーナーを拡充した。自然関係では、新設した可変展示コーナー（「ミニ企画コーナー」、「学芸員なう」など）を中心に約 10 回展示替えを行った。	—
資料紹介展 「雲の上のお花畑 ～岐阜県の高山植物～」	4/14 (土) ～ 6/17 (日)	岐阜県植物誌調査会とともにに行った、全行程 120km に及ぶ調査結果をもとに、飛騨地方の標高 3000m を越す山々に生育する高山植物の魅力について紹介した。関連事業として、現地観察会「乗鞍 高山植物観察会」を実施した。	9,875
特別展 「ジオペディアぎふ ～岐阜の大地から地球史を探る～」	7/6 (金) ～ 9/2 (日)	岐阜県の多様な地質学的資料を取り上げ、太古から現在までの地球史を紹介した。関連事業として、足立守氏を講師に迎え「最古の石 発見記」と題して講演会を開催した。また、糸魚川淳二氏を講師に迎え「化石の宝庫瑞浪」と題して講演会を開催した。	8,047
特別展 「飛騨・美濃の信仰と造形 —古代・中世の遺産—」	9/21 (金) ～ 10/28 (日)	岐阜県における神道・仏教に関する国宝や重要文化財を数多く紹介した。古代・中世の文化財に込められた祈りについて考え、往時の人々の精神に実物から迫る展示であった。関連行事として、有賀祥隆氏を講師に迎え「岐阜県の仏画—展示品を中心として—」と題して講演会を開催した。また、「横蔵寺拝観会」を現地で実施した。	12,215
特別展 「岐阜、染と織の匠たち 人間国宝 三人展」	9/21 (金) ～ 11/4 (日)	岐阜県出身・在住の染織家の人間国宝 3 人の代表作を初めて一堂に展示した。出展作家である人間国宝の土屋順紀氏を迎えてギャラリートークを実施した。また、関連行事として、萩原いづみ、中島利子の両氏を講師に迎え「山田貢と岐阜」と題して講演会を開催した。	14,682
発掘速報展 「発掘された飛騨・美濃の歴史」	11/17 (土) ～ 2/3 (日)	岐阜県文化財保護センターが近年調査した遺跡について、その成果を紹介した。高山市与島 B 地点遺跡・与島 C 地点遺跡をはじめ県内 4 箇所の遺跡からの出土品を中心に展示した。	3,809
第 33 回日本自然科学写真協会写真展 「自然を楽しむ科学の眼 2012-2013」	2/9 (金) ～ 3/17 (日)	動植物・水中・気象・地形・風景・顕微鏡写真などを当館の実物資料を交えながら紹介した。自然の中の不思議さ、自然と人間の関わり、自然の大切さ等を考える機会とした。	3,655
マイミュージアムギャラリー	(P15 参照)	「NIPPON CLOCK 展～関で生まれた古時計 100 台～」をはじめ 7 回の展示を実施した。	—

特別展 ジオペディアぎふ～岐阜の大地から地球史を探る～

1 開催期間

平成24年7月6日（金）～9月2日（日）

2 主催

岐阜県博物館、岐阜新聞・岐阜放送

3 後援

NHK岐阜放送局

4 趣旨

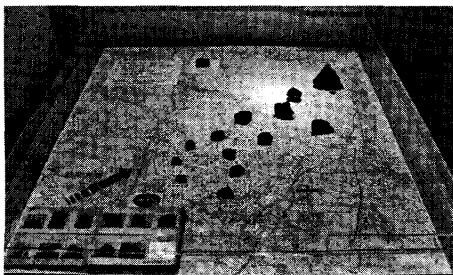
岐阜県は、日本で最も古い時代にできた岩石から現在も形成され続けている地層にいたるまで、他に類を見ないほど極めて広い時間幅を持つ多様な地層でできている。本特別展では、岐阜県の多様な地質学的事象を取り上げ、過去から現在までの地球史を探った。この特別展を通して地球の過去を理解し、現在の大地の成り立ちを把握し、そして未来を展望する観点を提供した。

5 展示構成

過去、現在、未来という3つに分けて展示を行った。

(1) 過去を振り返る

- ①先カンブリア時代：美濃隕石などの隕石、世界最古の石、日本最古の石、チムニー（熱水噴出口）など



美濃隕石落下分布図と美濃隕石

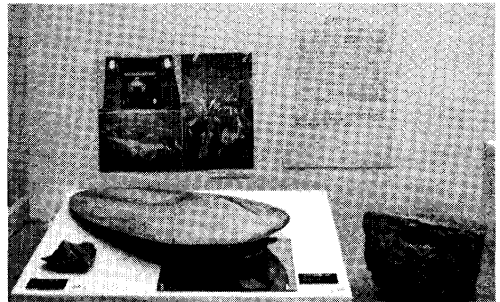
- ②古生代：天然記念物化石（福地化石、浅見化石）、シカマイア実物大復元模型など
③中生代：本巣郡舟伏山PT境界のチャート、手取層群の恐竜化石、KPg境界の隕石衝突生成物など
④新生代：瑞浪層群の哺乳類化石、デスモスチルスと貝化石、最新岐阜県活断層地図など

(2) 現在を知る

ニホンオオカミやトキなどの絶滅または希少な動植物などを展示し、絶滅の原因を紹介した。

(3) 未来を展望する

小水力発電、バイオマス発電、色素増感型太陽電池などを展示し、持続可能な社会の在り方を紹介した。



シカマイア実物大復元模型

6 関連事業

(1) 特別展記念講演会①「日本最古の石発見記」

日本最古の石を発見した経緯から、日本列島が形成された過程について講演いただいた。

講師：足立 守（名古屋大学特任教授）

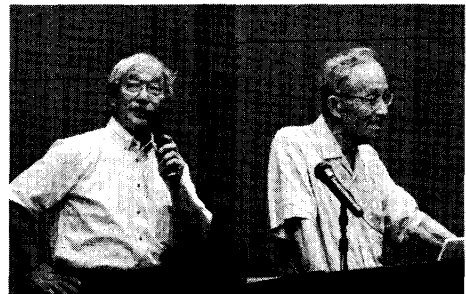
7月21日（土）13:30～15:00

(2) 特別展記念講演会②「化石の宝庫瑞浪」

瑞浪層群などの化石から推測した1500万年前の日本列島の環境について講演いただいた。

講師：糸魚川淳二（名古屋大学名誉教授）

8月4日（土）13:30～15:00



足立 守 氏

糸魚川淳二 氏

(3) 現地観察会「土岐川の河畔で化石採集」

瑞浪市の土岐川において化石採集体験を実施した。

講師：当館職員

5月13日（日）10:00～16:00

(4) 展示解説

担当学芸員による展示解説を実施した。

講師：当館職員

開催期間中の毎週末 14:30～15:00

特別展 飛騨・美濃の信仰と造形 —古代・中世の遺産—

1 開催期間

平成24年9月21日(金)～10月28日(日)

2 主催

岐阜県博物館、中日新聞社

3 後援

NHK岐阜放送局

4 趣旨

本特別展は、岐阜県における神道・仏教に関する文化財の展示を通して、その価値を理解することをねらいとした。そして、古代・中世の文化財に込められた祈りについて考え、往時の人々の精神に実物から迫ろうとしたものである。

岐阜県の文化は一括りにできないほど、県内各地域が豊かな個性を持っている。このことは神道・仏教にもいうことができる。本特別展では地域ごとの特色をあぶり出しつつ、信仰と造形を紹介した。

5 展示構成

(1) 西濃地域—天台宗の進出—

〈主な展示品〉

- ・五大尊像(大野町・来振寺蔵)(国宝)
- ・地藏菩薩坐像(大垣市・明星輪寺蔵)(国重文)
- ・薬師如来立像(揖斐川町・横蔵寺蔵)

(2) 岐阜地域—咲き乱れる仏教—

〈主な展示品〉

- ・入唐求法巡礼行記卷第三(個人蔵)(国宝)
- ・金銅獅子唐草文鉢(岐阜市・護国之寺蔵)(国宝)
- ・美濃国稲葉郡山田寺塔心礎納置銅壺(各務原市・山田寺蔵)(国重文)

(3) 中濃地域—山岳信仰の地—

〈主な展示品〉

- ・菩薩坐像(関市・常楽寺蔵)(国重文)
- ・古瀬戸黄釉瓶子(栄秀施入)(郡上市・長滝白山神社蔵)(国重文)
- ・(高賀信仰資料のうち)菩薩坐像(関市・高賀神社蔵)(県重文)

(4) 東濃地域—栄える願興寺・禅宗寺院—

〈主な展示品〉

- ・阿弥陀如来坐像(御嵩町・願興寺蔵)(国重文)
- ・千手観音像(多治見市・永保寺蔵)(国重文)
- ・薬師如来坐像(中津川市・東円寺蔵)(国重文)

(5) 飛騨地域—神仏習合の隆盛—

〈主な展示品〉

- ・神像(下呂市・森水無八幡神社蔵)(国重文)
- ・隨身坐像(高山市・阿多由太神社蔵)(県重文)
- ・鉦鼓(飛騨市・常蓮寺蔵)(県重文)



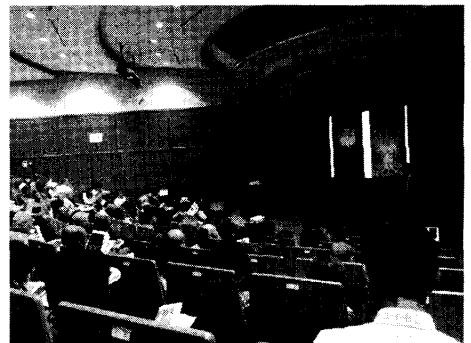
展示会場の様子

6 関連事業

(1) 特別展記念講演会「岐阜県の仏画—展示品を中心として—」

講師 有賀祥隆(東北大学名誉教授・東京藝術大学客員教授)

10月21日(日) 13:30～15:00



特別展記念講演会

(2) 講座「岐阜のほとけたち」特別展版 講演

講師 守屋靖裕(岐阜県博物館学芸員)

9月30日(日) 13:30～15:00(台風により中止)

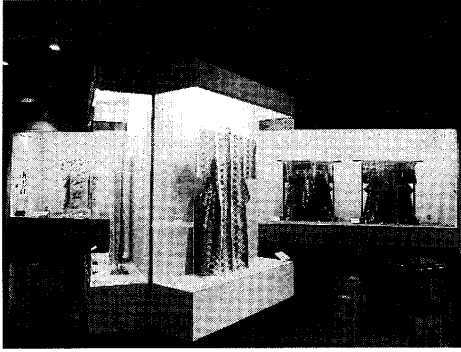
(3) 横蔵寺拝観会

10月14日(日) 13:30～15:00

(4) 学芸員による展示解説

9月22日(土)・29日(土)、10月7日(日)・8日(月・祝)・13日(土)・20日(土)・27日(土) 各日 14:30～15:00

特別展 岐阜、染と織の匠たち 人間国宝三人展



会場のように

1 開催期間

平成 24 年 9 月 21 日（金）～ 11 月 4 日（日）

2 主催

岐阜県博物館、中日新聞社

3 後援

NHK岐阜放送局

4 趣旨

人間国宝（重要無形文化財保持者）は平成 22 年までに延べ 162 人が認定され、岐阜県出身は 9 人、うち 6 人が地場産業でもある陶芸作家だが、残り 3 人が全て染織家であることは意外と知られていない。

本展では、その、山田貢（岐阜市出身、友禅）、宗廣力三（郡上市出身、紬縞織・緋織）、そして、土屋順紀（関市出身、紋紗）の代表作が初めて一堂に会し、岐阜県の生んだ染織のわざと美、さらに、これらの作家に影響を与えた郷土の風土を顕彰する試みとした。

5 展示構成

各作家毎に代表作を前後期に分けて展示した。作品は会期別に寒色系・暖色系でまとめ、季節感を演出した。

(1) 山田貢（1912-2002）1984 認定（友禅）

岐阜市生まれ。大正 15 年（1926）14 歳で友禅作家・中村勝馬に師事、友禅・臈纈を学ぶ。昭和 22 年（1947）第 32 回二科展工芸部に初入選、昭和 26 年（1951）友禅作家として独立。昭和 32 年（1957）第 4 回日本伝統工芸展に初出品初入賞、昭和 46～54 年（1971-79）東京芸術大学美術学部講師。昭和 52 年（1977）より日本工芸会主催による茶屋染帷子の復原事業を指導、糸目糊を研究。平成 10 年（1998）岐阜市ふるさと文化賞受賞。

(2) 宗廣力三（1914-89）1982 認定（紬縞織・緋織）

郡上市八幡町（郡上市）生まれ。昭和 12 年（1937）

修業道場・凌霄塾主事となり、開拓農民の育成に従事。第二次大戦後、同市那留ヶ野で開拓農場を営み、地織手紡産業の復興を計画、昭和 22 年（1947）京都市染織試験場長・浅井修吉に師事。昭和 28 年（1953）郡上工芸研究所を設立。昭和 33 年（1958）陶芸家・河井寛次郎に師事。昭和 40 年（1965）第 12 回日本伝統工芸展に初出品、昭和 45 年（1970）第 17 回日本伝統工芸展で日本工芸会会長賞受賞。昭和 52 年（1977）岐阜県指定無形文化財「郡上紬」保持者。昭和 55 年（1980）南足柄工芸研究所を開設。

(3) 土屋順紀（1954-）2010 認定（紋紗）

関市生まれ。京都インターナショナル美術専門学校卒業後、志村ふくみに師事。昭和 56 年（1981）関市で独立。平成 6 年（1994）第 41 回日本伝統工芸展初入選。平成 8 年（1996）北村武資に師事、第 43 回日本伝統工芸展で日本工芸会総裁賞（最高賞）受賞。平成 9 年（1997）日本工芸会正会員。平成 18 年（2006）紋紗着物「月下溪韻」で文部科学大臣賞受賞。平成 19・21 年（2007・09）日本工芸展染織部門の第一次鑑査委員。平成 21 年（2009）紫綬褒章受章。



会場の閲覧・配布物

6 関連事業

(1) 出展作家によるギャラリートーク

講師 土屋順紀

9 月 23 日（日）13:30～14:30 特別展示室

(2) 講演会「山田貢と岐阜」

講師 萩原いづみ・中島利子

10 月 14 日（日）13:30～15:00 ハイビジョンホール

資料紹介展 雲の上のお花畑 ～岐阜県の高山植物～

1 開催期間

平成24年4月14日(土)～6月17日(日)

2 主催

岐阜県博物館

3 趣旨

岐阜県飛騨地方には、御岳や乗鞍など、標高3000mを越す山々が存在している。そこには多くの自然も残され、様々な動植物が暮らしている。特にそこで生育する植物は高山植物と呼ばれ、氷点下の気温が続くきびしい自然環境にも適応しながら、力強く生活している。1年の中でも、気温が他の時期より高くなる短い夏季には、暖くなるのを待ちわびていたように一斉に花を咲かせ、一面お花畑になる場所もある。

岐阜県博物館は2005年から7年間にわたり、岐阜県植物誌調査会とともに、県内における高山帯の植物相を調査してきた。ここでは、調査で明らかになった県内に生育する高山植物について紹介した。

4 展示構成

(1) 高山植物とは

高山植物とはどんな植物か、なぜ高山植物は氷河期からの生き残りだと言われるのか。高山植物の定義とそのルーツについて紹介した。

(2) 山のつくりと高山植物の関係

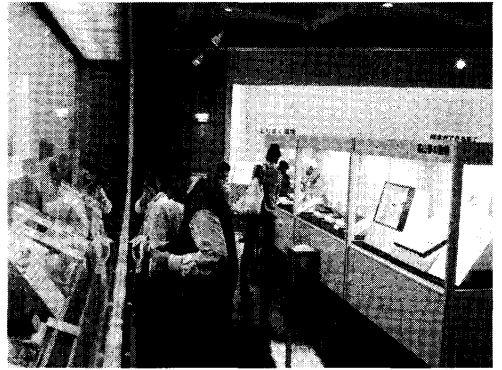
高山植物といっても、どこでも同じ高山植物が生育しているわけではない。細かな環境の違いによって、さまざまな高山植物がすみ分けしている。写真やレプリカ、さく葉標本でさまざまな環境に生育する高山植物を紹介した。

- 尾根筋の湿原(ムシトリスミレ、ワタスゲなど)
- 非対称山稜(ミヤマダイコンソウ、ハイマツなど)
- 雪田型お花畑(クロユリ、ハクサンチドリ、ハクサンイチゲなど)
- 最高峰の岩山に生育(クモマスミレ、シコタンソウ、クモマグサなど)

(3) 高山植物を取り巻く環境

調査によって明らかになった、高山植物を取り巻く環境の変化について紹介した。

- ①近年になり爆発的に増えたコマクサ…マイカー規制の成果(乗鞍岳)、採取を禁止したための成果(御嶽山)
- ②絶滅の危機に瀕しているハクサンオオバコ…平地のオオバコとの交雑種が出現(白山)



展示会場の様子

(4) 高山植物と動物との関係

高山植物が分布する地域では、時には動物に出会うこともある。高山植物とそれら動物との関係について紹介した。

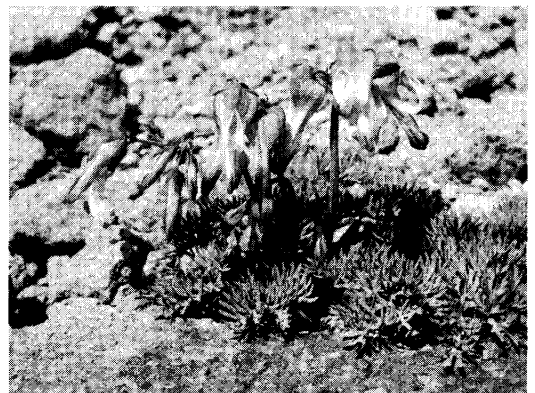
- ①幼虫が高山植物の葉を、成虫が花の蜜をエサとするチョウ類(タカネヒカゲやミヤマモンキチョウなど)
- ②大型草食哺乳類の高山帯への進入等で、絶滅の危機に瀕しているライチョウ

5 関連事業

(1) 乗鞍 高山植物観察会

乗鞍豊平のお花畑及び魔王岳にて、高山植物の観察会を行った。

開催日：7月22日(土)、講師：当館学芸員



高山植物観察会で観察されたコマクサ

1 開催期間

平成24年11月17日(土)～平成25年2月3日(日)

2 主催

岐阜県博物館

3 共催

岐阜県文化財保護センター

4 趣旨

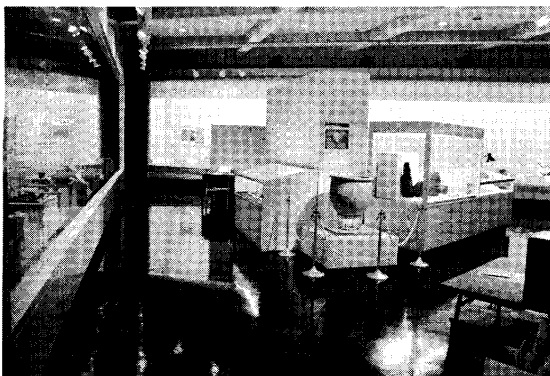
岐阜県文化財保護センターが近年調査した遺跡について、その成果を広く県民に紹介する速報展を開催した。今回は美濃加茂市牧野小山遺跡、岐阜市岩田東 A 遺跡、岐阜市芥見町屋遺跡、高山市与島 B 地点遺跡・与島 C 地点遺跡の 5 遺跡について紹介した。今回扱った遺跡はいずれも周辺での調査が蓄積された地域のものであり、周辺遺跡との関わりが示せるように展示を構成した。

5 展示構成

(1) 美濃加茂市牧野小山遺跡

牧野小山遺跡は縄文時代や、古墳時代から古代の集落が広がる大遺跡である。今回の調査地はその縁辺部で、縄文時代早期の焼礫集積遺構などが見つかっている。礫の焼けた肌は調理の様子を生々しく示している。

【主な展示資料】 下呂石製尖頭器、焼け礫、縄文土器片(早期・中期)、弥生土器 ほか



展示風景(中央は岩田東 A 遺跡出土の甕)

(2) 岐阜市岩田東 A 遺跡

古代東山道が当地を経路とした可能性も指摘され、近隣には官窯とされる老洞・朝倉古窯跡群がある。須恵器は甕・瓶・壺といった容器類が多く、物流の要地であったことがうかがわれる。また、この地で戦前まで醤油醸造を営んでいた店の商標が墨書された器などは、地域の人にとって記憶に残っている資料である。

【主な展示資料】 弥生時代の赤彩壺。奈良時代の須恵器瓶片。安土桃山時代の土師器皿。「イワタ」「タマリ」などの墨書が入った近世陶器、常滑甕ほか

(3) 岐阜市芥見町屋遺跡

調査地はかつての芥見の渡船場に隣接する。中世の資料には、中国製磁器や古瀬戸、崇寧重宝という普通の銭より一回り大きな中国銭など稀少なものが見られ、特別な場であったことがうかがわれる。

【主な展示資料】 中世の中国銭、古瀬戸入子、墨書山茶碗。濃尾震災頃に廃棄された陶器片ほか

(4) 高山市与島 B 地点遺跡・与島 C 地点遺跡

三枝城麓の低地に位置する。三枝城跡の調査では、尾根部で平安時代初め頃のお堂跡が見つかっているが、麓でも柱根や仏鉢形須恵器などが見つかった。高台と麓の施設が一組みとなる寺院の形態が示された。

【主な展示資料】 古墳時代の土師器高坏、漆塗りのクシ。古代の建築部材、漆が付着した須恵器坏・蓋。和傘の手元クロロほか

6 関連事業

展示解説

11月24日(土)・25日(日)1月5日(土)・6日(日) 各日 2 回 文化財保護センター職員、博物館学芸員が行った。



展示解説の様子

従来の広報に加えて、それぞれの調査遺跡が所在する小学校には、該当遺跡を紹介するチラシを配布するなど、重点的に広報した。自分が住んでいたところの調査で、興味を抱いて来館したという来館者も多くあり、こうした広報は効果的であった。

アンケートでは、郷土の歴史や文化への関心が喚起されたことが示されたが、その中で満足度が低い回答をされている方の多くが「来てはじめて速報展の開催を知った」方であった。初めから関心の高い方には満足を得ていただいているが、そうでない方の関心を引き出すには至っていない。これが課題として示された。

1 開催期間

平成 25 年 2 月 9 日 (土) ~ 3 月 17 日 (日)

2 主催

岐阜県博物館、日本自然科学写真協会

3 後援

環境省

4 趣旨

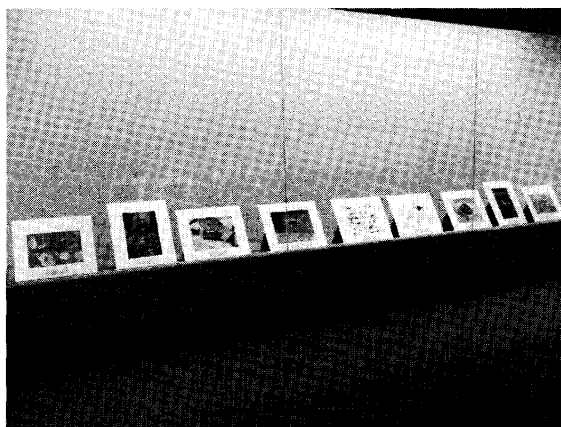
科学の眼を通して、自然と向き合うことの楽しさと感動を多くの方々に伝えるために、日本自然科学写真協会 (SOCIETY OF SCIENTIFIC PHOTOGRAPHY 略称 SSP) では、毎年「写真展」を開催している。この協会は、自然写真・科学写真の撮影に関わるプロやアマチュアの写真家、研究者、教育関係者等の呼びかけにより 1978 年に発足した団体であり、以来科学写真の文化向上と発展のために、活動を行っている。今回で第 33 回を迎えるこの写真展では、動植物、水中、自然風景、顕微鏡、天体等の多彩な分野の自然科学写真を展示した。自然の中の不思議さ、自然と人間との関わり、そして自然の大切さが伝わってくる作品が数多く並んだ。

5 展示構成

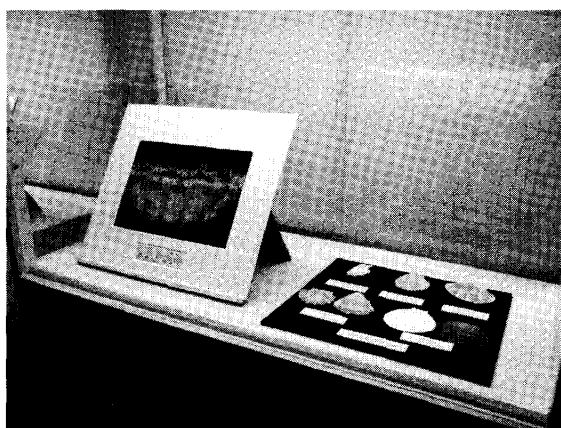
広大な自然の風景や、動植物が見せる驚きの瞬間を捉えた作品など計 150 点を、7 つのコーナーに分類して展示した。また、作品に関連した当館実物資料や、科学写真の仕組みを学ぶ体験展示を用意し、来館者の理解を深める工夫した。岐阜県の出展者の常川真氏と作美善男氏の作品については、出品作品と併せて、他の作品を DVD で紹介した。



県内出展者の作品と DVD 紹介コーナー



展示会場の様子



写真作品と関係する実物資料の紹介

(1) 植物・菌類

「キュウリの刺」(撮影:伊東良朗) など 11 点

(2) 哺乳類・両生爬虫類

「モリアオガエル」(撮影:日下正武) など 13 点

(3) 鳥類

「オオタカの水浴び」(撮影:和田昌也) など 15 点

(4) 昆虫類

「キアゲハ」(撮影:山本真吾) など 45 点

(5) 山岳・天体・自然風景

「岸辺の水面模様」(撮影:佐藤正美) など 40 点

(6) 顕微鏡・科学

「アサガオの葉」(撮影:竹村嘉夫) など 13 点

(7) 水中・水棲生物

「カジキマグロの捕食」(撮影:酒井由紀代) など 16 点

マイミュージアムギャラリー

1 展示内容

	展 示 会	展 示 内 容	
1	<p>NIPPON CLOCK 展 ～関で生まれた古時計 100 台～</p> <p>出展者 福田克則（関市） 平成 24 年 4 月 1 日（日） ～5 月 13 日（日）</p>	<p>戦後、関市で製造された日本時計（株）のゼンマイ柱時計「NIPPON CLOCK」のコレクション展。世界で最初に開発したといわれている、長針と短針の中心軸に秒針の付いた中三針ゼンマイ時計など 100 台を展示した。</p> <p>■実演「ゼンマイ時計の修理実演」 日時 4 月 1 日、4 月 8 日、5 月 5 日</p>	
2	<p>犬山焼 大皿展</p> <p>出展者 安藤悟（愛知県犬山市） 平成 24 年 5 月 26 日（土） ～7 月 1 日（日）</p>	<p>江戸時代、尾張犬山の城主である成瀬家のお庭焼として保護を受け発展した犬山焼のコレクション展。犬山焼の代表的な技法である、中国明時代の呉州風の「赤絵」や、一つの器に春の桜と秋の紅葉をあしらった「雲錦手」の大皿など約 40 点を展示した。</p>	
3	<p>鉄道コレクション今昔物語展</p> <p>出展者 本田博志（美濃加茂市） 山下秀樹（美濃加茂市） 平成 24 年 7 月 14 日（土） ～8 月 19 日（日）</p>	<p>鉄道グッズのコレクションと、1/80 16.5 mm ゲージの鉄道模型の作品展。バラエティーに富んだ鉄道グッズ約 100 点と、蒸気機関車を中心とした鉄道模型約 70 輛を展示した。</p> <p>■実演「鉄道模型制作実演」 日時 7 月 14 日、8 月 5 日、8 月 12 日 ■講演「駅員だった私が鉄男になってまった」 日時 8 月 5 日</p>	
4	<p>パッチワークキルト夫婦展</p> <p>出展者 横山金市 浩子（岐阜市） 平成 24 年 9 月 1 日（土） ～10 月 8 日（月・祝）</p>	<p>ご夫妻がご息子の不慮の死から立ち直ろうと制作したパッチワークの作品展。全国コンクールで入選した 2m×2m の迫力あるパッチワークタペストリーなど、ご夫妻が 25 年間に作りあげた作品約 45 点を展示した。</p> <p>■講座「パッチワークミニタペストリーをつくろう」 日時 9 月 8 日、9 月 15 日</p>	
5	<p>ウッドバーニング ～木と革の焼き絵アート～</p> <p>出展者 日本ウッドバーニング 協会／堀江均（岐阜市） 平成 24 年 10 月 20 日（土） ～11 月 25 日（日）</p>	<p>バーニングペン（焼きごて）で木に焦げ目をつけて絵を描くウッドバーニングの作品展。絵画作品、立体造形作品、レザーバーニング（革）作品など、日本ウッドバーニングコンテストの受賞作品を含む約 200 点を展示した。</p> <p>■講座「ウッド・レザーバーニング体験」 日時 11 月 3 日、11 月 4 日、11 月 23 日</p>	
6	<p>達磨絵 ひょうたん展</p> <p>出展者 加藤勝治（岐阜市） 平成 24 年 12 月 8 日（土） ～平成 25 年 1 月 27 日（日）</p>	<p>出展者が自身の手で栽培し、達磨絵などを絵付けして加工したひょうたんの作品展。全日本愛瓢会主催のコンクールでの上位入賞作品をはじめ、長さ 80 cm、胴周りが 120 cm にもなる大ひょうたんや、ビニール紐を用い、自在にくびれをつけた長ひょうたんなど約 20 点を展示した。</p>	
7	<p>心をつなぐ絵手紙展</p> <p>出展者 華の会／後藤登志子 （各務原市） 平成 25 年 2 月 9 日（土） ～3 月 20 日（水・祝）</p>	<p>絵手紙を愛好するグループ 41 名が制作した絵手紙の作品展。東日本大震災の復興を願ってかいた絵手紙をはじめ、和紙、土鈴、扇子、提灯など、様々なものにかかれた作品約 400 点を展示した。</p> <p>■講座「小枝で絵手紙を描こう」 日時 3 月 3 日</p>	

2 出展者による講座・実演等の開催

観覧者と出展者、あるいは観覧者同士の情報交流やふれあいの場として、また、体験を通して展示内容についての理解を深めてもらうために、出展者が主催者となって、講座や実演等の催しものを開催した。

(1) 第1回展示「NIPPON CLOCK ～関で生まれた古時計100台～」

実演 「ゼンマイ時計の修理実演」

日時 4月1日(土)・8日(日)・5月5日(土・祝)
13:30～15:30

出演 福井光雄

場所 マイミュージアムギャラリー

日本時計(株)に勤務し、今回の展示品を全て修理した福井氏が実演を行った。ゼンマイ時計に興味をもつ方が多く来場された。日本時計での生産の様子やゼンマイ時計の構造について熱心に質問する姿があった。



「ゼンマイ時計の修理実演」の様子

(2) 第3回展示「鉄道コレクション今昔物語展」

実演 「鉄道模型制作実演」

日時 7月14日(土)・8月5日(日)・12日(日)
13:30～15:30

出演 山下秀樹

場所 マイミュージアムギャラリー

山下氏が解説を交えながらD51の制作を行った。夏休みということもあり、親子での来場も多く、興味をもったお子さんやその保護者に対し、実際に制作体験をしてもらいながら、鉄道模型制作の楽しさを伝えていた。

(3) 第3回展示「鉄道コレクション今昔物語展」

講演 「駅員だった私が鉄男になってまった」

日時 8月5日(日)10:00～11:30

講師 本田博志

場所 ハイビジョンホール

本田氏が駅員時代の貴重な話や、今回の展示品について写真を交えながら解説を行った。鉄道を五感で楽しむことを提唱し、動画を見たり、実物に触れてみたりするなど、動きのある講演であった。

(4) 第4回展示「パッチワークキルト夫婦展」

講座 「パッチワークミニタペストリーをつくろう」

日時 9月8日(土)・15日(土)10:00～12:00

講師 横山金市・浩子

場所 講堂

横山夫妻の指導のもと、パッチワークによるミニタペストリーの制作を行った。講座に参加者した方の多くは女性であった。制作キットの材料は、横山夫妻が事前に全て袋詰めを行い受講者に配布した。また、裁縫道具や制作にあると便利な道具等も準備されており、スムーズに制作を進めることができた。多くの受講者が時間内に作品を完成することができ、その出来栄えにも満足していた。

(5) 第5回展示「ウッドバーニング～木と革の焼き絵アート」

講座 「ウッド・レザーバーニング体験」

日時 11月3日(土・祝)・4日(日)・23日(金・祝)
13:00～15:00(11/3は10:00～12:00も実施)

講師 堀江 均

場所 講堂

堀江氏の指導のもと、ウッド・レザーバーニングによる制作体験を行った。キーホルダー、レザーストラップ、バードコールの中から選択して制作した。下絵を転写した後、バーニングペンで焼いていくため、小さなお子さんでも簡単に取り組むことができた内容であった。堀江氏は、展示終了後にも講座として、「ウッドバーニング クリスマスリースをつくろう」および「ウッドバーニング お正月リースをつくろう」を開催した。

(6) 第7回展示「心をつなぐ絵手紙展」

講座 「小枝で絵手紙を描こう」

日時 3月3日(日)13:30～15:30

講師 後藤登志子

場所 講堂

後藤氏と華の会のメンバーの指導のもと、小枝を筆にした絵手紙の制作を行った。後藤氏に絵手紙をかくコツを覚えてもらいながら制作を進めた。枝でかいた太さの異なる線が、味わいのある作品となり、受講者にとっても新鮮味のある活動となった。



「小枝で絵手紙を描こう」の様子

6 調査研究活動

(1) 人文部門

① 考古分野

ア 展示にかかわる調査研究

発掘速報展「発掘された飛騨・美濃の歴史」や岐阜県文化財保護センター資料紹介コーナー、常設展示の改変、来年度特別展「弥生大集落 - 荒尾南遺跡が語るモノと心-」にかかわる資料調査を行った。

常設展示の改変では、古墳時代前期の東海地域に特徴的な S 字状口縁台付甕に見られる高いテクノロジー（大垣市今宿遺跡ほか）、古代飛騨の寺院（飛騨市寿楽寺廃寺）と集落（高山市野内遺跡）からうかがわれる都とのつながりといった展示を拡充した。

イ 寄贈資料・館蔵資料にかかわる調査研究など

寄贈を受けた館蔵資料の多くは不時発見の採集品である。未報告資料が多いため、『岐阜県博物館調査研究報告』において継続して資料紹介を行っている。今年度は郡上市白鳥町二日町において、三島真二氏により採集された石製土掘り具などの資料を図化し、紹介した。

当資料群には、石製土掘り具と同石材の剥片類が多く含まれている。石製土掘り具制作の痕跡が遺跡内で行われることは稀であり、詳細な観察・分析を行った。素材の厚さを減ずるといふ、石製土掘り具制作の一部工程が遺跡内で行われていることを明らかにした。

ウ その他研究

「東北アジアにおける古環境変動とレスー古土壌編年」科学研究費補助金基盤研究 (A) に伴う資料調査

エ 論文等執筆

長屋幸二 2012. 東海・中部地域の旧石器研究動向・考古学ジャーナル

長屋幸二ほか 2012. 河北省西白馬宮遺跡と侯家窩遺跡の資料評価 (共著) . 旧石器考古学

② 歴史分野

ア 企画展などにかかわる調査研究

今後の企画展計画に基づき、岐阜県に関わる織豊期の古文書を中心として、調査研究を県内外にわたりおこなった。主な調査先は以下の通り。

(ア) 岐阜県歴史資料館他県内諸機関ならびに個人宅にて岐阜県関連の織豊期古文書について調査を継続実施。

(イ) 東京大学史料編纂所所蔵国宝「島津家文書」を含め、岐阜県に関連する古文書について、同編纂所にて調査を実施。

イ 寄贈資料・館蔵資料にかかわる調査・研究

昨年度、集中して進めた館所蔵資料の悉皆調査作業の追加調査を実施した。また、5回にわたり公開講座・出前講座の実施等にもとない、館蔵の古文書や県内古文書等の調査研究を進めた。

③ 民俗分野

ア 展示にかかわる調査研究

本年度は特別展「岐阜、染と織の匠たち 人間国宝三人展」開催に向けて、とくに作家および遺族の聞き取り調査に当たり、収集した情報は原稿にまとめるとともに、解説を付して展覧会図録に掲載した。

常設展示では、昨年度から設置した「昔の道具」コーナーは学校見学でよく利用されており、昨年度末から公開していた岐阜国体コーナーも好評であったため、来年度に向けて、両コーナーを拡充する予定で準備を進めている。

イ 館蔵資料にかかわる調査研究など

いつもながら県民の皆様より貴重な資料の寄贈が続いている。本年度も新収集資料の公開に努める一方、当館調査研究報告に寄贈資料 2 件の概要をまとめ、調査結果を掲載・紹介した。新規収集品はもちろん、既収蔵資料についても引き続き調査を行いたいと考えている。

④ 美術工芸分野

ア 平成 24 年度特別展「飛騨・美濃の信仰と造形—古代・中世の遺産—」にかかわる調査研究

昨年度から引き続き、標記特別展開催に向けて調査研究を行った。

出品候補資料の所蔵者や管理者のところへ赴き、貸出の依頼と実査を行った。協力的なところが多く、特別展のために所蔵者 22 件から 38 件 66 点の文化財を借用することができた。

また、会場内解説パネルや図録の執筆に際しては、展示品個々の説明に重点を置いた。それぞれの作品について実査や文献渉猟、写真観察などを行い、これらの調査結果をもとに執筆した。

イ 岐阜県の宗教彫刻にかかわる調査研究

特別展「飛騨・美濃の信仰と造形—古代・中世の遺産—」にかかわる調査研究については前項アで既述した。

外部の機関や所蔵者から宗教彫刻に関する依頼・相談等が寄せられることがある。これらを引き受けて行う活動は、岐阜県博物館が外部と連携・協働しながら行う社会活動と位置付けてよい。平成 24 年度も依頼・相談等に応じる機会があった。

中には、地方自治体等が関与する宗教彫刻の現地調査に参加する機会もあった。専門家の目が届いていない文化財が、岐阜県にはまだ多く遺されているようである。

今後も県内の文化財の状況を把握し、調査研究や文化財保護活動に資するよう努めたい。

ウ 平成 25 年度企画展「鏝の美—鏝工・成木一成の挑戦—」にかかわる調査研究

標記企画展開催に向けて、作家である成木氏の希望を実現するよう、展示品や展示構成などについて協議しながら準備を進めている。あわせて作品の実査、成木氏への聞き取り調査、他館への展示視察、文献渉猟などを行い、企画展への反映を図っている。

(2) 自然部門

① 動物分野

ア 主な研究テーマ

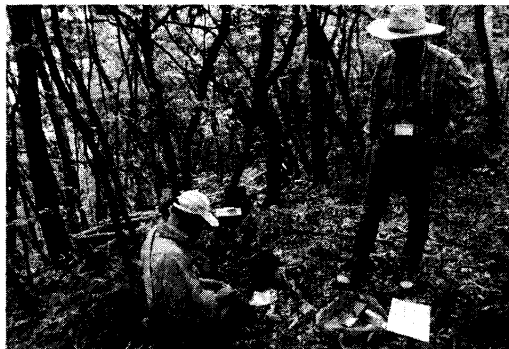
- (ア) キノコ食甲虫の生態について
- (イ) 里山林に生息する動物の生態について
- (ウ) 戦前の動物採集家および博物学標本商について
 - イ 書籍・論文など
- (ア) 説田健一 2012. 観察会からの脱皮ーモニ 1000 里地調査への参加と百博会の運営ー, 全科協ニュース, 42(4), 5-6.
- (イ) 向井貴彦・国崎亮・淀太我・寺町茂・千藤克彦・説田健一 2013. 岐阜県における 2 種の外来ナマズ目魚類の野外での初記録と文献に基づく岐阜県産魚類目録の改訂. 岐阜県博物館調査研究報告, 34, 47-57.

ウ 学会発表など

- (ア) 説田健一 2012. 柳原鳥類コレクションについて (2) 折居彪二郎が採集した標本. 日本鳥学会 2012 年度大会 (100 周年記念大会). 東京.
- (イ) 説田健一 2012. カメラトラップ (ビデオ) による岐阜県関市の百年公園における哺乳類相. 日本環境動物昆虫学会第 24 回年次大会. 名古屋.

エ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) ダチョウ組 (動物標本作製のサークル)
- (イ) 昆虫標本整理グループ (昆虫標本整理)
- (ウ) 岐阜の魚研究会 (魚類標本の整理)
- (エ) クモ研究会 (百年公園のクモ相の調査)
- (オ) モニタリングサイト 1000 里地調査
- (カ) 百博会
- オ 他団体との調査活動
- (ア) 「ウシモツゴを守る会」の調査・保存活動



モニタリングサイト 1000 里地調査

② 植物分野

ア 主な研究テーマ

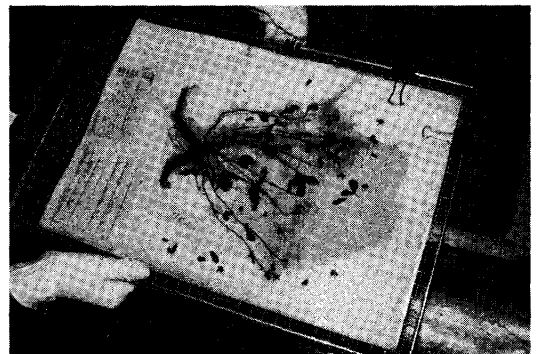
- (ア) 種子の飛行メカニズムについて
- (イ) 岐阜県博物館と連携した教師教育プログラムの開発
 - イ 書籍・論文など
- (ア) 金古弘之・船戸 智 2012. 続・へいしろうと呼ばれる魚
- (イ) 船戸 智 2013. 陸前高田市立博物館の被災した

押し葉標本レスキュー活動. 岐阜県博物館調査研究報告, 34, 45-46

- (ウ) 船戸 智 2013. 科学的リテラシー育成のための教材開発と実験授業の試行に関する計画案 子どもの科学的リテラシーを育成する教育システムの開発に関する実証的研究. 科学研究費・研究成果報告書. 78-82

ウ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) モニタリングサイト 1000 里地調査
- エ 他団体との調査活動
 - (ア) 岐阜県植物誌調査会 (県植物誌編纂関係調査)
 - (イ) 岐阜県植物研究会 (岐阜県内の植物の調査)
 - (ウ) 岐阜県レッドデータブック改訂調査検討委員会 (岐阜県環境生活部清流の国ぎふづくり推進課と共同)



押し葉標本レスキュー作業

③ 地学分野

ア 主な研究テーマ

- (ア) シカマイアの古生態学的研究及び復元模型の製作
- (イ) 手取層群の堆積相研究
 - イ 館内サークル活動の企画及び運営
 - (ア) 化石プレパレーションサポーター
 - (イ) 天体観測サポーター
- ウ 他団体との調査活動
 - (ア) 福井県立恐竜博物館との共同調査
 - (イ) 岐阜の地学を学ぶ会



手取層群の堆積層調査

(3) マイ・ミュージアム部門

マイ・ミュージアム部門では、マイミュージアムギャラリー展示に係る業務とマイ・ミュージアム業務から構成されている。

マイミュージアムギャラリー展示に係る事業は、マイ・ミュージアム棟 2 階で、「岐阜県に在住、在勤及びゆかりのある個人又は団体（法人等）」が長年にわたって、調査研究・収集されている貴重なコレクションを広く展示公開する業務である。

また、マイ・ミュージアム業務は、当館収蔵資料のデータベース構築に係る業務として収蔵品を始め有形・無形の文化資源等を、デジタル化して保存等を行う業務（デジタルアーカイブ）及び、インターネット公開に係る準備業務である。

① マイミュージアムギャラリーについて

ア 運営の概要

生涯学習時代、県民が個人的に調査、収集、研究した資料のコレクションや生涯学習の成果や作品には、大変すばらしいものが多数存在する。こうした背景から、県民独自のコレクションや生涯学習の発表の場として、マイミュージアムギャラリーが開設された。ここでは、県民相互が多様な文化情報の発信・授受を行うなどの多目的な活用も図られている。博物館では一定期間、展示公開する場の提供と側面支援を行うことで目標の達成を目指している。

展示計画は、出展申し込みのあった展示内容をもとに、マイミュージアムギャラリー企画運営委員会によって審議され、年 7 回の展示会が決定される。

なお、出展者の募集や出展調査は常時行っている。

イ 展示記録「マイ・コレクション」の発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。展示会場内で観覧者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。平成 24 年度は平成 7 年度からの通番で、第 131 号から第 138 号まで発行した。チラシ等の配付における来館効果を母平均推定 95% 確率で統計学的に計算した結果、8.9% から 19.5% 内に来館効果がチラシにはあることが分かり、平成 24 年度は、作成した「マイ・コレクション」を前年よりも 1,000 枚程度増刷した。結果は下記のように、各展示でほぼ前年を上回る結果となった。

- 1 NIPPON CLOCK 展～関で生まれた古時計 100 台～ (37 日間)：前年度同時期比 200%
- 2 犬山焼 大皿展 (32 日間)：同種比 220%
- 3 鉄道コレクション今昔物語展 (32 日間)：前年度同時期比 400%
- 4 パッチワークキルト夫婦展 (33 日間)：前年度同時期比 480%
- 5 ウッドバーニング～木と革の焼き絵アート～ (32 日間)：前年度同時期比 113%
- 6 達磨絵 ひょうたん展 (39 日間)：前年度同時期比 300%
- 7 心をつなぐ絵手紙展 (34 日間)：前年度同時期比 250%

ウ 博物館同人としての登録

平成 24 年度までに 200 名の同人登録がなされており、往復ハガキなどを用いて、マイミュージアムギャラリーに関する意見や新規の出展者情報を収集している。

エ 観覧者、出展者の意識調査の実施と分析

マイミュージアムギャラリー観覧者に展示の満足度調査を行った。展示終了後には、出展者に満足度調査を行った。調査結果の分析と考察及び研究を行い、改善につなげた。

Figure 1 に示すように観覧者の満足度は高く、効果的な展示を行えたものと考えている。また、マイミュージアムギャラリーの良さを問う項目では「観覧が無料であること」が 33.6%であり、「いろいろな作品が見られ、出展者との交流により趣味が深められた」が 65.3%であったことから県民相互の文化情報の交流に寄与できたものと考えている。

更に Figure 2 から出展者の高い満足度が確認できる。また、マイミュージアムギャラリーの存在価値を問う項目ではその存在価値を多方面の観点から価値ありという評価を 90.9% という高値で得ることができた。

以上の結果から、マイミュージアムギャラリーの平成 24 年度運営については、当初の目標を充足したものといえる。

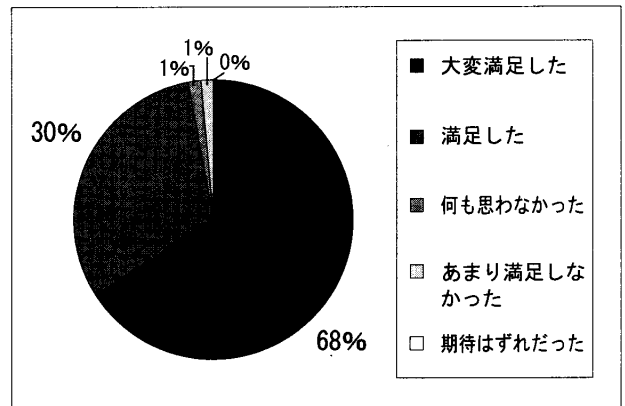


Figure 1 観覧者の満足度 (n=345：H24 年度 5 月～3 月)

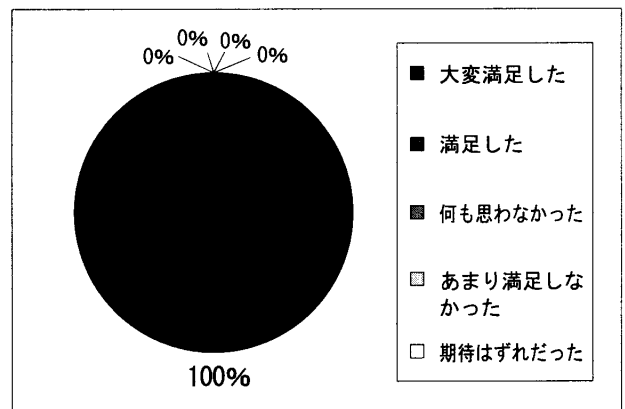


Figure 2 出展者の満足度 (n=7：H24 年度)

また、出展者支援及び観覧者の満足度向上のために、作品に係るキャプションや説明文の記述方法を研究した。アンケート調査を行い読み手の読解方略を体系的

7 資料収集活動

(1) 収蔵資料数

① 人文分野

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

分 野	資 料 数 (件)
考 古	459
歴 史	1,379
民 俗	1,655
美 術 工 芸	1,278
合 計	4,771

② 自然分野

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

分 野	資 料 数 (件)
動 物	26,723
植 物	90,127
岩 石 鉱 物	2,001
化 石	1,578
合 計	120,429
総 合 計	125,200

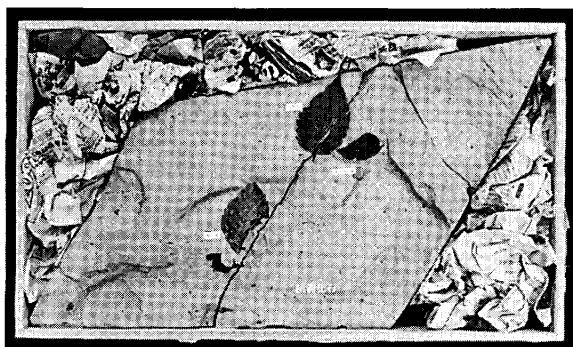
(2) 平成 24 年度寄贈資料一覧

① 人文分野

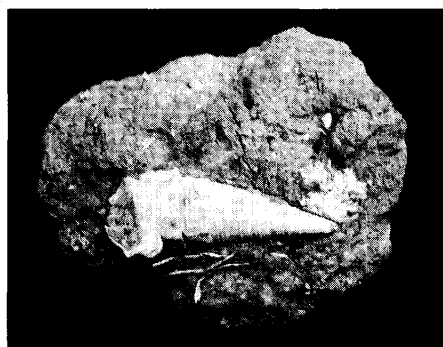
資 料 名	件数
なし	

② 自然分野

資 料 名	件数	資 料 名	件数
フクロウなどの剥製	2	シベリアイタチ	7
ヤツガシラ	1	岩石 (玄武岩など)	2
蝶類標本	96	塩原植物化石	6
魚類標本	104	ビカリア化石	1
哺乳類 (キツネ、テン)	2	ツキノワグマ (頭骨)	19
化石 (二枚貝など)	500		



【塩原の植物化石】



【ビカリア化石】

(3) 平成 24 年度購入資料一覧

① 人文分野

資 料 名	件数	購 入 先
なし	0	

② 自然分野

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

資 料 名	件数	購 入 先
なし	0	

8 教育普及活動

(1) 教育普及活動

① 催しものの開催状況

催しものは、企画展関連事業（特別展を含む11回）やマイミュージアムギャラリー関連事業（15回）の他、自然、人文、教育普及、マイ・ミュージアムが担当する多様な講座・行事・体験活動（63回）の計89回を実施した。

<催しものの開催状況一覧>

事業名	期 日	対 象	定 員	参 加	内 容
企 画 展 関 連 事 業	5/ 3	家族	40名	35名	化石のレプリカをつくろう
	5/13	一般	40名	35名	現地観察会「土岐川で化石採集」
	6/ 3	一般	30名	29名	化石のペーパーウェイトをつくろう
	7/21	一般	120名	42名	特別展記念講演会「最古の石発見記」
	7/22	一般	20名	6名	現地観察会「乗鞍 高山植物観察会」
	8/ 4	一般	120名	46名	特別展記念講演会「化石の宝庫瑞浪」
	9/23	一般	40名	44名	特別展出展作家によるギャラリートーク
	9/30	一般	30名	中止	講座「岐阜のほとけたち」特別展版 講演
	10/14	一般	20名	20名	横蔵寺拝観会
	10/14	一般	120名	95名	特別展記念講演会「山田貢と岐阜」
	10/21	一般	120名	74名	特別展記念講演会「岐阜県の仏画」
11/24	一般	30名	19名	まが玉をつくろう	
ギャラリー 関 連 事 業	4/ 1	一般	なし	86名	ゼンマイ時計の修理実演（1）
	4/ 8	一般	なし	60名	ゼンマイ時計の修理実演（2）
	5/ 5	一般	なし	70名	ゼンマイ時計の修理実演（3）
	7/14	一般	なし	82名	鉄道模型制作実演（1）
	8/ 5	一般	120名	21名	講演会「駅員だった私が鉄男になってしまった」
	8/ 5	一般	なし	47名	鉄道模型制作実演（2）
	8/12	一般	なし	86名	鉄道模型制作実演（3）
	9/ 8	一般	30名	45名	パッチワークミニタペストリーをつくろう（1）
	9/15	一般	30名	36名	パッチワークミニタペストリーをつくろう（2）
	11/ 3	一般	100名	85名	ウッド・レザーバーニング体験（1）
	11/ 4	一般	100名	37名	ウッド・レザーバーニング体験（2）
	11/23	一般	100名	25名	ウッド・レザーバーニング体験（3）
	12/ 9	一般	20名	9名	ウッドバーニング クリスマスリースをつくろう
12/23	一般	20名	7名	ウッドバーニング お正月リースをつくろう	
3/ 3	一般	30名	27名	小枝で絵手紙を描こう	
たのしい 博 物 館	4/15	家族	なし	7名	家族で春の里山ウォッチング
	4/28	一般	30名	16名	まが玉をつくろう
	4/30	家族	40名	24名	木でこいのぼり・五月人形をつくろう
	5/27	家族	20名	25名	魚の捕り方教えます ～ビオトープの魚調べ～
	6/ 9	一般	100名	72名	わくわく体験「菖蒲まつり」(1)
	6/10	一般	100名	181名	わくわく体験「菖蒲まつり」(2)
	6/17	一般	40名	24名	楽しい折り紙教室
	6/24	家族	20名	22名	蝶の羽の模様を写し取ろう
	6/30	家族	20名	10名	おいでよ！博物館
	7/ 1	家族	20名	16名	家族で昆虫標本をつくろう
	7/15	家族	なし	25名	家族で夏の里山ウォッチング
	7/28	家族	70名	76名	家族でナイトウォッチング
	8/11	家族	30名	20名	火おこし器をつくろう
	8/12	家族	40名	36名	おもしろく動くからくり木工
	8/25	家族	40名	33名	おもしろく動く恐竜・動物づくり
	9/17	家族	20名	11名	おいでよ！博物館
	10/ 8	一般	20名	32名	木の実で遊ぼう
	10/20	一般	100名	196名	わくわく体験「オータムフェスティバル」(1)
10/21	一般	100名	230名	わくわく体験「オータムフェスティバル」(2)	
10/21	家族	なし	10名	家族で秋の里山ウォッチング	
11/ 3	一般	100名	49名	わくわく体験「秋まつり」	
11/18	一般	200名	179名	徳山のくらしを体験しよう	

特別展関連事業では、東北大学名誉教授、東京藝術大学客員教授の有賀祥隆氏による「岐阜県の仏画－展示品を中心に－」のほか、3つの特別展記念講演会を実施した。また、人間国宝で出展作家の土屋順紀氏によるギャラリートークや現地観察会「土岐川で化石採集」、「横蔵寺拝観会」などを実施し、特別展に関連して知見を深める機会を多く提供した。

事業名	期日	対象	定員	参加	内 容
たのしい 博物館	11/25	家族	40名	14名	木で来年の干支(巳)をつくろう
	1/5	一般	20名	14名	春の七草ウォッチング
	2/3	一般	20名	4名	津保川でカモを観察しよう
	2/9	一般	20名	4名	ネームプレートをつくろう(1)
	2/9	一般	20名	中止	ネームプレートをつくろう(2)
	2/10	一般	20名	4名	ネームプレートをつくろう(3)
	2/10	一般	20名	6名	ネームプレートをつくろう(4)
	2/17	家族	なし	9名	家族で冬の里山ウォッチング
	2/23	一般	20名	12名	古布で布絵をつくろう(1)
	2/23	一般	20名	7名	古布で布絵をつくろう(2)
3/24	家族	20名	18名	おいでよ!博物館	
カルチャー 講座	4/15	一般	40名	20名	骨のかたちから生きざまを探る(7)
	4/18	一般	なし	27名	里山ウォッチング
	4/22	一般	20名	10名	化石クリーニング講座(初級①)
	4/29	一般	30名	7名	謡曲入門
	5/6	一般	30名	27名	古文書入門(1)
	5/16	一般	なし	25名	里山ウォッチング
	5/20	一般	20名	11名	化石クリーニング講座(初級②)
	6/17	一般	20名	11名	化石クリーニング講座(初級③)
	6/20	一般	なし	中止	里山ウォッチング
	7/8	一般	20名	4名	化石クリーニング講座(初級④)
	7/18	一般	なし	18名	里山ウォッチング
	7/29	一般	30名	26名	古文書入門(2)
	8/15	一般	なし	2名	里山ウォッチング
	8/18	一般	20名	3名	化石クリーニング講座(中級①)
	8/19	一般	20名	6名	化石クリーニング講座(中級②)
	8/25	一般	20名	6名	化石クリーニング講座(中級③)
	8/26	一般	20名	8名	化石クリーニング講座(中級④)
	9/16	一般	20名	8名	化石クリーニング講座(上級①)
	9/19	一般	なし	中止	里山ウォッチング
	10/7	一般	20名	6名	化石クリーニング講座(上級②)
	10/17	一般	なし	18名	里山ウォッチング
	10/28	一般	30名	24名	古文書入門(3)
	11/11	一般	20名	7名	化石クリーニング講座(上級③)
	11/21	一般	なし	16名	里山ウォッチング
	12/16	一般	20名	8名	化石クリーニング講座(上級④)
	12/19	一般	なし	23名	里山ウォッチング
1/16	一般	なし	14名	里山ウォッチング	
2/20	一般	なし	15名	里山ウォッチング	
3/10	一般	30名	18名	古文書入門(4)	
3/17	一般	40名	2名	百年公園の自然調査報告会	
3/20	一般	なし	16名	里山ウォッチング	
特別行事	5/4	一般	300名	100名	春のグリーンアドベンチャー
	1/6	一般	200名	138名	七草がゆを食べよう
			合計	3,178名	

② わくわく体験コーナー

わくわく体験コーナーは、平成23年度は毎月第1・第3の土曜・日曜日に郷土学習室において開催していた。参加者から、開催日が分かりにくいとの指摘があったため、今年度より毎週日曜日の開催とした。延べ49回開催し、1,812人の参加者があった。体験メニューも化石クリーニング体験、化石レプリカづくりに加え、万華鏡づくり、はたおり機でコースターをつくろう、どんぐり標本づくりを実施し、幅広いニーズに対応した。

<わくわく体験コーナー>

実施回数	参加人数	実施メニュー
49	1,812	化石クリーニング体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくり、はたおり機でコースターをつくろう、どんぐり標本づくり

③ 展示解説

常設展展示解説は、毎日午前11時と午後2時に解説員により行った。延べ337回、1,726人の参加者があった。テーマは日替わりで、恐竜の話、合掌づくり、輪中、大昔の暮らし、大地のなりたち、三葉虫などについてわかりやすく解説した。また、企画展展示解説は企画展開催期間中に随時担当学芸員により行った。述べ36回、476人の参加者があった。企画展の展示について掘り下げながら、わかりやすく解説した。

<展示解説>

	実施回数	参加人数	内 容
常設展	337	1,726	解説員による常設展展示解説
企画展	36	476	担当学芸員による企画展展示解説

④ 団体利用

団体利用は、191 団体、10,296 人で、全入館者数のおよそ4分の1を占めている。美濃地区、岐阜地区、西濃地区の小学校や幼稚園・保育園の利用が多い。

学習活動では、生活科との関連を重視し、百年公園の自然を活用した「秋みつけ」や「ドングリぶえづくり」などの体験活動を多く実施した。

展示では、人文展示室1の「郷土の百年」コーナーを活用し、小学生の社会科の学習「古い道具と昔の

暮らし」に対応した解説を行った。屋外展示の旧徳山村民家では、囲炉裏や洗濯板を使った体験活動を実施し、昔の暮らしを実感を持って理解するように努めた。

今年度は、「秋みつけ」「どんぐりぶえづくり」「昔の暮らし体験」などの体験活動において、博物館サポーターの協力を依頼し、活動の準備や片付け、子どもへの指導や声かけなどの支援を実施した。

月	日	市町村	団体名	人数
4	8	関市	岐阜県警察学校初任科	18
4	14	関市	岐阜県警察学校初任科	126
4	22	岐阜市	ボーイスカウト岐阜第17団	30
4	25	岐阜市	三輪北小学校5,6年	44
5	2	北名古屋	五条小学校2年	90
5	10	一宮市	いずみ作業所	45
5	11	一宮市	いずみ作業所	41
5	11	関市	松美保育園	27
5	13		遊歩クラブ	22
5	15	関市	倉知小学校1年	77
5	15	瑞浪市	瑞浪高校クラス会	20
5	16	関市	金竜小学校1年	108
5	16	関市	桜ヶ丘小学校1年	91
5	18	関市	桜ヶ丘小学校2年	73
5	18	あま市	伊福小学校1,2年	154
5	18		岐阜県小学校社会科研究部会	52
5	22	関市	倉知小学校2年	82
5	22	北名古屋	師勝西小学校3年	120
5	22	稲沢市	稲沢北小学校3年	51
5	22		岐阜県博物館協会総会	51
5	25	関市	安桜小学校3年	95
5	25		水と街道 東濃会	20
5	26	関市	関市教育委員会文化課	8
5	29	各務原市	那加幼稚園年中	66
5	30	各務原市	那加幼稚園年長	68
5	30	関市	金竜小学校3年	119
6	1	関市	寺尾小学校1~4年	21
6	6		岐阜県高等学校教育研究会地歴公民部会	63
6	6	関市	富岡小学校2年	92
6	12	岐阜市	諏訪山老人会	24
6	15	名古屋	名古屋教育文化センター	37
6	15		東海民放クラブ歩こう会	45
6	17	名古屋	プラトンスクール	109
6	20	関市	関特別支援学校	13
6	24	岐阜市	岐阜大学教育学部	23
6	28	関市	桜ヶ丘小学校4年	74
6	28		光の園	35
7	6	関市	田原小学校6年	74
7	7		巽会	13
7	10	岐阜市	岩小学校3年	49
7	13	関市	松溪保育園	40
7	14	関市	中部学院大学	56
7	19	関市	平安幼稚園	136
8	1	岐阜市	かぐや第1・3幼稚園年長	68
8	2	郡上市	大和町子ども会育成協議会	112
8	2	郡上市	大和町子ども会育成協議会	112
8	4	関市	せき西部ふれあいスポーツクラブ	20
8	9	郡上市	大和町子ども会育成協議会	140
8	9		今南キッズクラブ	28
8	10		岐阜県みどりの少年団	115
8	10	岐阜市	まどか保育園	12

月	日	市町村	団体名	人数
8	12		千代田スイミングスクール	49
8	14		日本輸出刃物工業組合	27
8	16		県中学校技術家庭科研究部会	82
8	17		県中学校理科研究部会	70
8	21	岐阜市	いぶき福祉会	5
8	22	関市	関市小学校生活科部会	9
8	22	関市	関市小学校理科部会	17
8	22	関市	関市中学校理科部会	20
8	22	岐阜市	岐阜市小中学校理科部会第2ブロック	26
8	24	一宮市	宮西公民館	54
8	25	垂井町	垂井町東公民館	24
8	25	多治見市	多治見北高等学校	1
8	25	石川県	金沢大学	1
8	26	多治見市	多治見北高等学校	1
8	26	石川県	金沢大学	1
8	28	滋賀県	八日市高等学校2年	35
8	29	滋賀県	八日市高等学校2年	35
9	21	関市	富野中学校	54
9	23	各務原市	尾崎子ども会	72
9	26		市民三学東野委員会	32
9	27	川辺町	第一保育園	85
9	27	各務原市	鶴沼第一小学校1年	99
10	2	関市	小金田中学校2年	6
10	2	関市	武儀東小学校1,2年	24
10	2	関市	武儀東小学校3年	12
10	3	関市	小金田中学校2年	6
10	3	関市	田原小学校1年	56
10	3	関市	田原小学校2年	62
10	4	関市	小金田中学校2年	6
10	4	揖斐川町	春日小学校3,4年	17
10	4	大野町	西小学校3年	38
10	4	関市	富岡小学校1年	75
10	4	白鳥町	白鳥町文化財保護協会	20
10	5	関市	下有知小学校2年	78
10	5	稲沢市	稲沢東小学校3年	133
10	5	本巣市	席田小学校3年	50
10	8	関市	岐阜県警察学校初任科	29
10	10	岐阜市	芥見小1年	72
10	10	恵那市	三郷町公民館	33
10	10	関市	武儀西小1~3年	25
10	11	一宮市	朝日東小学校3年	62
10	11	大垣市	墨俣小1年	54
10	11	関市	富野小学校1,2年	39
10	11	瑞穂市	西小学校1年	56
10	11	江南市	古知野北小学校2年	90
10	11	一宮市	北方小学校2年	88
10	11	江南市	宮田小学校1年	126
10	12	岐阜市	早田小学校1年	76
10	12	関市	洞戸小学校1,2年	37
10	16	一宮市	今伊勢西小学校1年	71
10	16	関市	上之保小学校3年	8

月	日	市町村	団体名	人数
10	16	関市	上之保小学校1,2年	22
10	17	関市	南ヶ丘小学校1,2年	32
10	17	岐阜市	合渡小学校2年	64
10	18	関市	旭ヶ丘小学校1年	58
10	18	江南市	古知野東小学校2年	124
10	18	岩倉市	曾野小学校2年	109
10	19	美濃市	牧谷小学校1年	23
10	19	美濃市	中有知小1年	44
10	19	関市	博愛小学校1,2年	74
10	19	関市	中部学院大学附属幼稚園年長	72
10	19	岐南町	東小学校1年	97
10	23	稲沢市	清水小学校1,2年	76
10	23	清須市	古城小学校3年	63
10	23	岐阜市	岩野田北小学校1年	95
10	24		みどり福祉会ケアハウスささゆり	9
10	24	郡上市	相生小学校1年	26
10	24	山県市	富岡小学校2年	58
10	24	郡上市	石徹白小学校1~4年	12
10	24	郡上市	石徹白小学校5,6年	5
10	24	関市	武芸小学校2年	35
10	24	海津市	海西小学校4年	29
10	24	美濃市	美濃市小学校生活科部会	4
10	24		岐阜県文化財保護巡視員会議	80
10	25	中津川市	西小学校3年	117
10	25	岐阜市	長良東小学校1年	106
10	25	一宮市	大徳小学校3年	76
10	25	富加町	富加小学校1年	53
10	25	本巣市	土貴野小学校	47
10	25	山県市	いわ桜小学校4年	23
10	26	笠松町	松枝小学校2年	102
10	26	関市	旭ヶ丘小学校2年	57
10	26		ラポルトインターナショナルキンダーガーデン	30
10	26	一宮市	今伊勢小学校3年	161
10	27	御嵩町	中児童館・伏見児童館	51
10	27	石川県	石川県立美術館友の会	43
10	27		岐阜学会	13
10	28	半田市	半田市博物館古文書サークル	20
10	30	岐阜市	鷺山小学校1年	85
10	30	岐阜市	則武小学校1年	86
10	30	江南市	門弟山小学校3年	76
10	31	岐南町	西小学校1年	72
10	31	関市	金竜小学校1年	108
10	31	岐阜市	藍川中学校2年	6
10	31	美濃加茂市	加茂野小学校5年	98
11	1	岐阜市	藍川中学校2年	6
11	1	稲沢市	領内小学校3年	58
11	1	関市	瀬尻小学校1年	82
11	1	犬山市	羽黒小学校3年	84
11	2	七宗町	上麻生小1,2年	35
11	2	関市	板取小学校1,2年	10
11	2	岐阜市	梅林小学校4年	41
11	2	羽島市	正木小学校3年	178
11	6	関市	桜ヶ丘中学校2年	5
11	7	関市	桜ヶ丘中学校2年	5
11	7	関市	下有知小学校1年	79
11	7	大野町	大野小学校	80
11	8	関市	桜ヶ丘中学校2年	5
11	9	関市	安桜小学校2年	82
11	9	関市	関保育園年長	37
11	9	岐阜市	徹明小学校1年2年	37
11	9	美濃加茂市	山之上保育園	48

月	日	市町村	団体名	人数
11	10	養老町	養老町教育委員会中央公民館	29
11	15	各務原市	中央小学校1年	83
11	15	岐阜市	岐阜小学校4年	57
11	15	池田町	池田小学校4年	66
11	16	下呂市	下原小学校	14
11	20	大野町	北小学校5年	52
11	21	岐阜市	長良小学校3年	87
11	22	岐阜市	日野小学校1年	54
11	29	各務原市	適応指導教室あすなろ相談室	15
11	30	岐阜市	藍川東中学校いぶき学級	7
12	7	関市	西部保育園	43
12	13	御嵩町	上之郷小学校6年	21
1	29	関市	富野小学校3年	23
1	30	海津市	高須小学校4年	72
2	7	岐阜市	サニーサイドインターナショナル幼稚園	77
2	8	各務原市	陵南小学校4年	73
2	9	本巣市	もとすガキッコクラブ	22
2	15	関市	虹ヶ丘幼稚園	72
2	15	郡上市	和良小学校4年	16
2	17		岐阜県勤労者山岳連盟	89
2	21	関市	金竜小学校3年	120
2	24	岐阜市	岐阜大学教育学部	21
2	26	美濃加茂市	加茂野保育園年長	57
2	26		岐阜県小学校社会科研究部会	52
2	28	美濃加茂市	太田第二保育園	43
3	12	美濃加茂市	三和保育園	19
3	12	美濃加茂市	井深保育園	32
3	14	郡上市	口明方小学校4年	26
3	15	美濃加茂市	太田第一保育園	49
3	28	美濃加茂市	牧野交流センター	47
合計人数				10,296

	団体数	人数
学校団体（幼保含む）	142	8,114
学校以外の団体（社会教育施設含む）	49	2,182
合計	191	10,296

⑤ 出前授業・講師派遣

出前授業の実施回数は17回(小中学校16回、高校1回)であった。また、講師に招聘されたのは17回であった。

招聘先としては各種団体が中心で、職員研修、地域学習、生涯学習の場として、様々な目的に活用されていた。

<出前授業>

期 日	用 務 先	対象児童等	人数	会 場	授業内容
平成24年4月27日	関市立下有知小学校	5年生	80	関市立下有知小学校	外来種について
平成24年4月27日	美濃市立藍見小学校	4年生	30	美濃市立藍見小学校	外来種について
平成24年6月15日	郡上市立吉田小学校	5年生	22	粥川	カワゲラウォッチング
平成24年6月19日	関市立瀬尻小学校	4年生	81	関市立瀬尻小学校	水生生物観察会
平成24年6月28日	関市立瀬尻小学校	4年生	81	関市立瀬尻小学校	カワゲラウォッチング
平成24年7月4日	関市立富岡小学校	4年生	45	関市立富岡小学校	外来種について
平成24年9月4日	関市立武儀東小学校	4年生	15	津保川	カワゲラウォッチング
平成24年9月27日	関市立旭ヶ丘小学校	5年生	72	吉田川	カワゲラウォッチング
平成24年10月13日	各務原市立那加第二小学校	小学生	40	各務原市立那加第二小学校	まが玉をつくろう
平成24年10月23日	岐阜県立可児高等学校	高校生	50	可児高等学校	古文書を読解しよう
平成24年10月30日	関市立瀬尻小学校	4年生	81	関市立瀬尻小学校	カワゲラウォッチング
平成24年11月10日	各務原市立鶴沼第一小学校	4～6年生	25	各務原市立鶴沼第一小学校	化石レプリカと化石の話
平成25年2月20日	関市立富岡小学校	3年生	90	関市立富岡小学校	昔の道具の話、洗濯板を使った洗濯体験
平成25年2月22日	関市立倉知小学校	3年生	85	関市立倉知小学校	昔の道具の話、洗濯板を使った洗濯体験
平成25年2月26日	関市立旭ヶ丘小学校	6年生	57	関市立旭ヶ丘小学校	化石レプリカと化石の話
平成25年2月28日	関市立瀬尻小学校	4年生	81	関市立瀬尻小学校	カワゲラウォッチング
平成25年3月5日	各務原市立各務小学校	6年生	50	各務原市立各務小学校, 境川	外来種について, カワゲラウォッチング

<講師派遣>

期 日	依 頼 先	対象児童等	人数	授 業 内 容
平成24年4月13日	県民ふれあい会館	岐阜県新規採用職員	50	岐阜県の文化と歴史
平成24年6月3日	関市	一般	40	水生生物観察会
平成24年6月9日	藤橋公民館	小中学生	20	まが玉をつくろう
平成24年6月30日	七宗町	一般	20	カワゲラウォッチング, ホテル観察会
平成24年7月14日	岐阜市歴史探検隊	一般	70	旧石器時代の岐阜
平成24年7月27日	揖斐川歴史民俗資料館	小中学生	20	まが玉をつくろう
平成24年8月3日	揖斐川歴史民俗資料館	小中学生	20	まが玉をつくろう
平成24年8月24日	一宮市博物館	小学生	20	講座「体験!自由研究のたね」
平成24年9月1日	市中総代会(飛騨市)	一般	50	快存上人の偉業について
平成24年10月8日	岐阜大学CST講座	大学生	17	長良川流域の地質巡検
平成24年10月27日	岐阜女子大学	一般	100	岐阜県の歴史地震と活断層
平成24年11月23日	光記念館	職員	10	化石資料の同定指導
平成24年11月25日	岐阜女子大学	一般	10	展示学について
平成24年12月1日	上之保保育園	園児と保護者	52	化石レプリカと化石の話
平成24年12月2日	岐阜県エコツーリズム連携会議	一般	20	川原の石の観察会
平成24年12月9日	岐阜市東部コミュニティセンター運営委員会	一般	100	藍川中生徒が発見した老洞窟を語る
平成25年1月30日	市中総代会(飛騨市)	一般	50	快存上人と市中総代会について

⑥ 資料の貸し出し

	機 関 名	資 料 名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数	
人	宗教法人 済法寺	十一面観音菩薩立像（レプリカ）他	平成 24 年 5 月 1 日	平成 25 年 4 月 30 日	5	
	町田市立国際版画美術館	歌川広重筆「六十余州名所図会 美濃 養老ノ瀧」(ポジ) 他	平成 24 年 7 月 1 日	平成 24 年 12 月 7 日	4	
	(個人)	奈良市丹生神社蔵能面「翁」(写真) 他	平成 24 年 7 月 1 日	平成 24 年 7 月 25 日	7	
	(株) TBS ビジョン	溪斎英泉筆「岐阻路ノ駅 河渡 長柄川鶴飼船」(画像)	平成 24 年 7 月 11 日	平成 24 年 7 月 17 日	1	
文	岐阜県現代陶芸美術館	木彫レリーフ「ダンサー」他	平成 24 年 8 月 4 日	平成 25 年 7 月 15 日	40	
	愛荘町立歴史文化博物館	椿椿山筆「山海奇賞稿本」(ポジ)	平成 24 年 8 月 31 日	平成 24 年 10 月 26 日	9	
	福岡市博物館	能面「蛇」「鬼神(飛出)」	平成 24 年 9 月 1 日	平成 24 年 11 月 17 日	2	
	町田市立国際版画美術館	歌川広重筆「六十余州名所図会 美濃 養老ノ瀧」 他	平成 24 年 9 月 18 日	平成 24 年 12 月 7 日	4	
	関鍛冶伝承館	小太刀 銘 濃州関住人兼定ノ享徳二年二月日	平成 24 年 9 月 29 日	平成 24 年 10 月 29 日	1	
	瀬古写真株式会社	濃尾地震写真	平成 25 年 3 月 6 日	平成 25 年 3 月 27 日	2	
	自然	可児市郷土歴史館	植物標本及びレプリカ	平成 24 年 4 月 3 日	平成 24 年 6 月 22 日	13
		各務原市立桜丘中学校	哺乳類頭骨標本	平成 24 年 4 月 9 日	平成 24 年 4 月 13 日	6
		(財) 岐阜県校長会館	動物標本 (画像)	平成 24 年 4 月 16 日	平成 24 年 4 月 30 日	1
		エコミュージアム関ヶ原	昆虫標本	平成 24 年 6 月 20 日	平成 24 年 9 月 10 日	9
関市立上之保小学校		動物剥製標本	平成 24 年 6 月 23 日	平成 24 年 7 月 7 日	7	
岐阜市立長良西小学校		昆虫標本	平成 24 年 6 月 25 日	平成 24 年 6 月 29 日	8	
岐阜市科学館		昆虫標本	平成 24 年 7 月 24 日	平成 24 年 9 月 6 日	15	
岐阜県先端科学技術体験センターサイエンスワールド		カンボ隕石	平成 24 年 7 月 27 日	平成 24 年 7 月 28 日	1	
河川環境楽園 自然発見館		動物剥製標本など	平成 24 年 7 月 31 日	平成 24 年 8 月 1 日	13	
エコミュージアム関ヶ原		鳥類剥製標本	平成 24 年 8 月 31 日	平成 24 年 12 月 28 日	7	
岐阜県立岐山高等学校		化石とシリコン型	平成 24 年 9 月 1 日	平成 24 年 9 月 4 日	40	
各務原市立桜丘中学校		哺乳類頭骨標本	平成 24 年 9 月 18 日	平成 24 年 9 月 24 日	6	
関市立寺尾小学校		マガン剥製標本	平成 24 年 10 月 2 日	平成 24 年 12 月 2 日	1	
岐阜市立常盤小学校		化石とシリコン型	平成 24 年 10 月 5 日	平成 24 年 10 月 11 日	80	
美濃市立昭和中学校		哺乳類頭骨標本	平成 24 年 10 月 5 日	平成 24 年 10 月 19 日	2	
岐阜県立岐山高等学校		化石とシリコン型	平成 24 年 10 月 12 日	平成 24 年 10 月 15 日	40	
河川環境楽園 自然発見館		コウモリ類剥製標本	平成 24 年 10 月 18 日	平成 24 年 10 月 23 日	11	
可児市立中部中学校		脊椎動物骨格標本	平成 24 年 10 月 20 日	平成 24 年 11 月 10 日	7	
岐阜市立陽南中学校		脊椎動物骨格標本など	平成 24 年 10 月 27 日	平成 24 年 11 月 18 日	52	
海津市立東江小学校		化石とシリコン型	平成 24 年 11 月 11 日	平成 24 年 11 月 13 日	80	
海津市立西江小学校		化石とシリコン型	平成 24 年 11 月 14 日	平成 24 年 11 月 15 日	80	
海津市立吉里小学校		化石とシリコン型	平成 24 年 11 月 16 日	平成 24 年 11 月 19 日	80	
海津市立大江小学校		化石とシリコン型	平成 24 年 11 月 20 日	平成 24 年 11 月 25 日	80	
笠松町歴史民俗資料館		ヘビの剥製標本	平成 24 年 12 月 20 日	平成 25 年 2 月 11 日	3	
光記念館		岩石資料	平成 24 年 12 月 18 日	平成 25 年 12 月 25 日	24	
大垣市立西部中学校		化石とシリコン型	平成 24 年 12 月 27 日	平成 25 年 1 月 5 日	60	
岐阜市立精華中学校		化石とシリコン型	平成 25 年 1 月 13 日	平成 25 年 2 月 23 日	160	
岐阜県立揖斐特別支援学校		化石とシリコン型	平成 25 年 1 月 15 日	平成 25 年 1 月 29 日	60	
岐阜市立精華中学校		化石とシリコン型	平成 25 年 1 月 27 日	平成 25 年 2 月 1 日	30	
岐阜新聞社		ライチョウなど絶滅動物 (画像)	平成 25 年 2 月 28 日	平成 25 年 3 月 6 日	4	
岐阜大学	美濃隕石落下地点分布図 (画像)	平成 25 年 3 月 1 日	平成 26 年 2 月 28 日	1		
東海テレビ	美濃隕石落下地点分布図 (画像)	平成 25 年 3 月 6 日	平成 25 年 3 月 19 日	3		
岐阜大学	頭骨標本	平成 25 年 3 月 15 日	平成 25 年 4 月 20 日	5		
世界文化社	恐竜足跡化石 (画像)	平成 25 年 3 月 25 日	平成 25 年 3 月 25 日	1		
			合 計	1,065		

⑦ 刊行物

名 称	発行年月日	判、頁	部 数	備 考
岐阜県博物館報第 35 号	24. 4. 1	A4 31 頁	800	
平成 25 年度岐阜県博物館催しもの案内 (掲示用)	25. 3. 31	B2	2,500	
平成 25 年度岐阜県博物館催しもの案内 (携帯用)	25. 3. 31	A4 4ツ折	47,500	
岐阜県博物館調査研究報告第 34 号	25. 3. 31	A4 62 頁	700	
博物館ガイド	リーフレット	25. 3. 29	A4 3ツ折	30,000
自然ビンゴカード・人文ビンゴカード	25. 3. 29	A4 両面	21,000	
【特別展のポスター・リーフレット】				
ジオペディアぎふ ～岐阜の大地から地球史を探る～	ポスター	24. 7. 6	B2	2,800
ジオペディアぎふ ～岐阜の大地から地球史を探る～	リーフレット	24. 7. 6	A4 両面	95,000
ジオペディアぎふ ～岐阜の大地から地球史を探る～	図録	24. 7. 6	A4 8 頁	600
飛騨・美濃の信仰と造形 ―古代・中世の遺産―	ポスター	24. 9. 21	B2	2,800
飛騨・美濃の信仰と造形 ―古代・中世の遺産―	リーフレット	24. 9. 21	A4 両面	119,000
飛騨・美濃の信仰と造形 ―古代・中世の遺産―	図録	24. 9. 21	A4 96 頁	600
岐阜、染と織の匠たち 人間国宝三人展	ポスター	24. 9. 21	B2	2,800
岐阜、染と織の匠たち 人間国宝三人展	リーフレット	24. 9. 21	A4 両面	120,000
岐阜、染と織の匠たち 人間国宝三人展	図録	24. 9. 21	A4 8 頁	600
【資料紹介展等のポスター・リーフレット】				
雲の上のお花畑 ～岐阜県の高山植物～	ポスター	24. 4. 14	B2	800
雲の上のお花畑 ～岐阜県の高山植物～	リーフレット	24. 4. 14	A4 両面	23,000
発掘された飛騨・美濃の歴史	ポスター	24. 11. 17	B2	800
発掘された飛騨・美濃の歴史	リーフレット	24. 11. 17	A4 両面	23,000
第 32 回日本自然科学写真協会写真展 自然を楽しむ科学の眼 2012-2013	ポスター	25. 2. 9	B2	800
第 32 回日本自然科学写真協会写真展 自然を楽しむ科学の眼 2012-2013	リーフレット	25. 2. 9	A4 片面	23,000
【マイ・ミュージアム刊行物】				
マイ・コレクション第 131 号	24. 4. 1	A4 両面	1,000	
マイ・コレクション第 132 号	24. 5. 26	A4 両面	1,000	
マイ・コレクション第 133 号	24. 7. 14	A4 両面	1,000	
マイ・コレクション第 134 号	24. 9. 1	A4 両面	1,000	
マイ・コレクション第 135 号	24. 10. 20	A4 両面	1,000	
マイ・コレクション第 136 号	24. 12. 8	A4 両面	1,000	
マイ・コレクション第 137 号	25. 2. 9	A4 両面	1,000	
マイミュージアムギャラリー	ポスター	25. 3. 15	B2	1,600
マイミュージアムギャラリー	リーフレット	25. 3. 15	A4 両面	13,000

⑧ 図書館資料 (平成 25 年 3 月末現在)

	図書館資料数	備 考
一 般 資 料	20,206	含 刀剣文庫
郷 土 資 料	5,545	
児 童 書	1,436	
博 物 館 資 料	5,075	含 当館資料、棚橋文庫、熊田文庫
合 計	32,262	

(2) 広報活動

来館者の増加をめざして、広報活動の充実を図った。

①ホームページの改修

平成9年9月の「岐阜県博物館ホームページ」開設以来、ホームページを広報活動の重要な手段として改修を重ねてきた。本年度は、次の2点を重点的に改修した。



ア 必要な情報がすぐに見つかるトップページ

ホームページ閲覧者が、直感的に必要な情報を得られるように、利用頻度が高い「展覧会スケジュール」「イベント情報」などを1ページに表示するようにした。また、カテゴリ構成を見直し、必要な情報までの道のりが明確になるようにした。

イ 博物館の魅力が伝わるウェブニュース

一般的な広報では伝わりにくい博物館の魅力を知らせるために、常設展示の見どころやサポーターグループの活動報告などの記事を持ち回りで投稿することとした。

②資料配付の見直し

特別展、資料紹介展などの広報においては、チラシやポスターの布置・掲示が一つの重要な手段である。より効果的に資料を配付するために、展覧会の内容によって重点的に広報する地域や客層を絞り込み、それに応じて配付先を選択することとした。また、当館は近隣地域からの来館者が高い割合を占めている。そこで、近隣の小学校を通じて各家庭にチラシを配付し、幅広い年代に情報が行き渡るようにした。

③無料情報誌への情報提供

無料情報誌は地域ごとに各家庭に配付されるので、重要な広報手段の一つである。より多くの情報誌に対して掲載依頼するとともに、配付される地域ごとに掲載内容を変更したり、読者プレゼントを用意したりして、広報の効果が高まるように工夫した。

④団体向け活動メニューの紹介

当館は入館者全体に占める学校団体の割合が高い。より一層の利用促進を図るため、教職員の研修会などで活動メニューや利用方法を紹介した。また、ホームページに「授業で使える博物館」メニューを新設し、県外の学校団体にも広報できるようにした。

(3) 博物館実習

7月23日(月)から7月27日(金)までの5日間、岐阜大学(3名)、岐阜聖徳学園大学(3名)、岐阜女子大学(1名)、滋賀県立大学(3名)、金城学院大学(1名)、京都橘大学(1名)、同志社大学(1名)、都留文科大学(1名)、帝京科学大学(1名)、富山大学(1名)、静岡大学(1名)、立命館大学(1名)、名古屋芸術大学(1名)、名古屋造形大学(1名)の14大学から20名の学生を受け入れた。分野別の受け入れ状況は、人文5名、自然9名(植物4名、動物3名、地学2名)、教育普及6名であった。実習生指導は、共通実習と選択分野別実習を担当職員によって行った。

1日目	実習開始式 館長講話 岐阜県博物館の概要 博物館学芸員の仕事 教育普及担当の仕事 自然担当の仕事 自然資料の概要 人文担当の仕事 人文資料の概要
2日目	博物館資料情報データベース等について 自然展示室観覧 人文展示室観覧 マイミュージアムギャラリー観覧 バックヤード観覧 分野別実習
3日目	分野別実習
4日目	分野別実習
5日目	刀剣に関する講話と見学(関鍛冶伝承館) 企業博物館見学(フェザーミュージアム) レポート等の作成 実習生による成果発表・意見交換 実習終了式

9 利用状況

(1) 入館者数

平成 24 年度は、入館者数 45,984 人で前年に比べて 184 人、0.4%の微増となった。リニューアル工事の終了によって平成 23 年度より開館日数が増えたことが要因と思われるが、はっきりとした増加とは考えにくい。

1日あたりの入館者数が最も多かった日は、「オータムフェスティバル」の 10 月 21 日で 1,137 人を数えた。また、団体入館者数は 191 団体、10,296 人で、入館総数の約 22.4%を占めており、月別では 10 月が 4,096 人で一番多く、団体入館者総数の 33.8%を占めている

特別展期間中の入館者数は下表のとおりである。夏季と秋季の入館者総数は 22,729 人を数えた。

月	高校生以下	大学生	一般	計	開館日数	一日平均
4	1,131	19	2,082	3,232	26	124
5	2,516	45	2,630	5,191	26	200
6	1,185	46	2,217	3,448	26	133
7	1,263	89	1,507	2,859	26	110
8	2,266	24	2,572	4,862	27	180
9	1,015	28	2,814	3,857	26	148
10	5,073	36	5,688	10,797	26	415
11	2,221	24	1,856	4,101	26	158
12	380	11	549	940	24	39
1	603	7	847	1,457	24	61
2	1,063	30	1,365	2,458	24	102
3	1,119	41	1,622	2,782	27	103
計	19,835	400	25,749	45,984	308	149

特別展名	期間	高校生以下	大学生	一般	計
ジオペディアぎふ	7/6 ~ 9/2	3,639	116	4,292	8,047
飛騨・美濃の信仰と造形	9/21 ~ 10/28	5,061	45	7,109	12,215
岐阜、染と織の匠たち	9/21 ~ 11/4	6,454	53	8,175	14,682

(2) 来館者アンケート

来館者の実態や意識を把握し博物館運営に生かすために、アンケート調査と結果の考察を実施している。

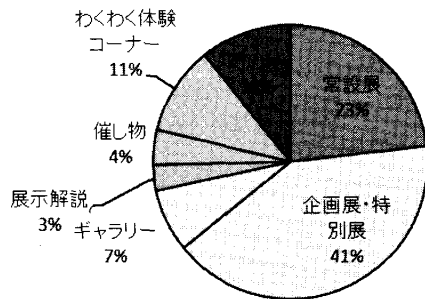


Figure 1 来館目的 (複数選択可 n=363, H24年4月~H25年3月)

来館目的では、Figure 1 に示すように企画展・特別展が最も多く、次いで常設展、わくわく体験コーナーであった。企画展・特別展は今年度 6 回開催し、チラシやポスターを配布、インターネットなどの広報の他、報道で取り上げられることで県民等に広く周知され、来館のきっかけとなった。わくわく体験コーナーは、毎週日曜日午後開催し、化石クリーニングや万華鏡を作る体験などを実施したが、お子様連れのご家族を中心に来館の目的とされる方が多かった。

満足できたものは、Figure 2 に示すように常設展が最も多く、次いで企画展・特別展、わくわく体験コーナーであった。常設展を選択した方は、お子様連れ

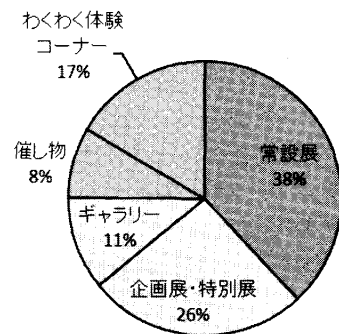


Figure 2 満足できたもの (複数選択可 n=362, H24年4月~H25年3月)

のご家族が多かったが、観覧の様子を見ると、大型の迫力のある展示やハンズオン展示、展示ワークシートなどを楽しまれているようである。

また、来館目的ではなかったが、実際に満足できたものは、常設展(+15%)、わくわく体験コーナー(+6%)、催し物(+4%)、マイミュージアムギャラリー(+4%)となっている。その一方で、来館目的だったのに、あまり満足できなかったものは、企画展・特別展(-15%)となっている。このことから、意外と知られていない常設展やわくわく体験コーナーなどを中心に満足感が生まれていると考えられる。これまで積極的に広報してきた企画展・特別展の質をより高めるとともに、常設展やわくわく体験コーナーなどの魅力も積極的に発信していくことが必要だと考えている。

10 博物館関係団体

(1) 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、動物・植物・地学等の自然系や歴史・考古・民俗・美術工芸等の人文系などに興味、関心を持つ人々の展示観覧、研究、学習の便宜を図って、博物館の教育普及との密接な連携により、博物館の事業や活動をサポートする会である。

平成 24 年度の一般会員数は 210 名、後援会員は 8 団体である。ここ数年、会員数は減少傾向が続いている。継続会員の高齢化が進み、退会者数が新規会員数を上回っているためである。

平成 24 年度の主な事業、行事は次の通りである。

① 会議・各種委員会

5/17	春季理事会・総会	4/13	会報委員会
10/18	秋季理事会	9/25	探訪委員会
3/16	会長・副会長会	11/15	七草委員会

② 広報誌の発行

季刊誌「友の会報」は 104 号(6 月)、105 号(10 月)、106 号(2 月)の年 3 回、A4 判 6 頁で各 300 部を発行した。

③ 図録の刊行と在庫図録の販売

今年度、特別展に合わせ「ジオペディアぎふ」「飛騨・美濃の信仰と造形」「岐阜、染と織の匠たち」の 3 種類の図録を刊行した。また、在庫図録の販売は、館内ショップの他、次の施設での委託販売を行った。

県内	高山陣屋、レストハウス花兆、百年公園事務所、岐阜県世界淡水魚水族館(アクア・トトぎふ)、下呂温泉博物館、海津市歴史民俗資料館
県外	東京国立博物館 国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)

④ 博物館との共催事業の実施

ア 特別行事「七草がゆを食べよう(1 月 6 日)」

好天にも恵まれ、地元の市長や県議をはじめ約 150 名の参加でたいへん賑わった。七草がゆの試食の他、友の会の七草委員や博物館サポーターの協力を得て企画した七草クイズも好評であった。

イ わくわく体験共催事業

子どもから大人までを対象とした化石クリーニング、化石レプリカづくりの他、ものづくり体験としてやさしい万華鏡づくり、はたおり機でコースターづくり等の体験を郷土学習室で実施した。毎週日曜日に開催し、年間で約 2300 名の参加があった。

ウ たのしい博物館

「まが玉をつくろう」「化石クリーニング講座」「古布で布絵をつくろう」等、年間 44 回の催し物を実施した。

⑤ 友の会員入館の入館料補助

平成 24 年度の博物館見学者数は、通常期間中の入館者 206 名、特別展期間中の入館者 86 名、合計 292 名あり、その入館料(団体料金相当)を友の会で助成した。

⑥ 探訪の旅

友の会では、会員相互の見聞を広め教養を高めるとともに、親睦を図ることを目的に、海外への探訪並びに国内の探訪を実施している。昭和 61 年以降、これまでに国内探訪として 73 カ所の名所、旧蹟を訪ねる旅を実施した。平成 4 年からは、海外探訪の旅を加え、世界遺産見学を中心に、訪問国の文化と歴史を研修する旅をこれまでに 13 回実施した。探訪の日程は、訪問する目的を明確にした上で、会員自らが策定している。また、研修の成果は訪問施設の解説冊子としてまとめ、参加者全員に配布している。

平成 24 年度の探訪の旅は以下の通りである。

ア「琵琶湖 竹生島の神社・仏閣拝観の旅」

6 月 9 日(土)

参加者 34 名

(2) 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和 41 年に設立された。

県民文化講演会「美濃焼きの謎再発見」ほか、公開講座(年 4 回)、機関紙発行(年 3 回)、会員研修会(年 3 回)等の諸事業を行った。

平成 25 年 3 月現在、会員館は 132 館、個人会員は 21 名。

主な役員は次の通りである。

会長…若宮多門、副会長…名和哲夫、古川秀昭、河合正明、榎本徹、西永勝己、事務局は岐阜県博物館内にある。

<主な事業>

4/24	協会監査
4/24	第 1 回理事会
5/12(他)	第 131 回公開講座(7/14, 9/8, 11/10, H25. 1/12)
5/22	岐阜県博物館協会通常総会
5/22	県民文化講演会
6/19	機関紙委員会
7/ 5	第 79 回会員研修会
7/18	東海地区博物館連絡協議会総会
8/ 5	第 132 回公開講座
10/25, 10/26	第 60 回全国博物館大会(秋田)
11/18	第 134 回公開講座
11/24	第 133 回公開講座
11/29	第 37 回東海三県博物館協会研究交流会(岐阜県)
12/ 4	第 80 回会員研修会
H25. 1/30	機関紙『岐阜の博物館』第 169 号発行
2/ 1	機関紙『岐阜の博物館』第 170 号発行
3/13	第 2 回理事会
H25. 3/14	第 81 回会員研修会
3/22	機関紙『岐阜の博物館』第 171 号発行

Ⅲ 利用案内 (平成25年度)

- 開館時間 4月～10月 9時～16時30分 (入館は16時まで)
11月～3月 9時30分～16時30分 (同上)

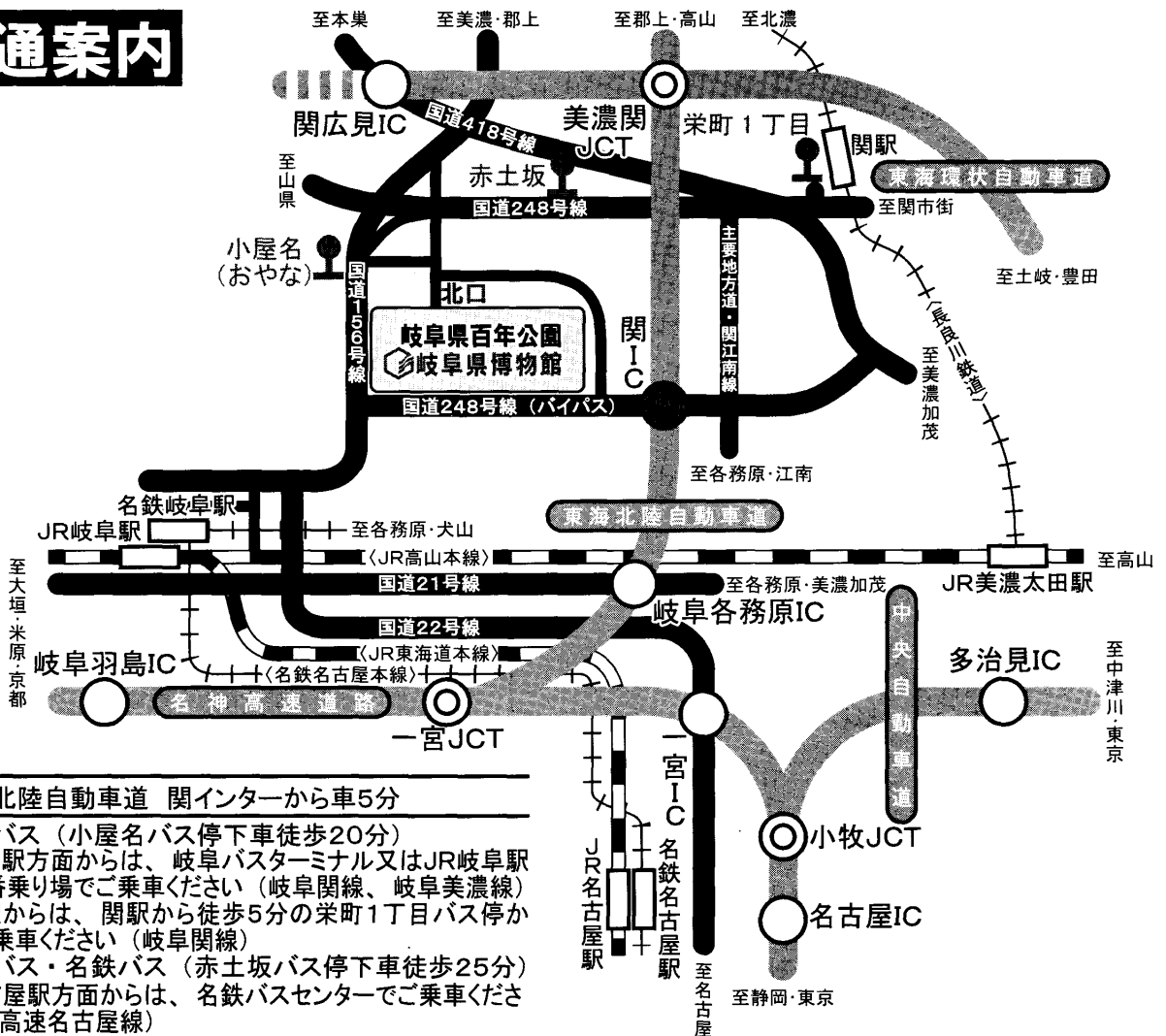
- 入館料

区分	本館		マイ・ミュージアム
	通常	企画展「弥生大集落」	
一般	320(260)円	600(520)円	無料
大学生	110(50)円	300(200)円	
小中高生	無料	無料	

() は20名以上の団体

- 休館日
 - ・月曜日 (月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日)
 - ・年末年始 (12月29日～翌年1月3日)
 - ・臨時休館 平成26年2月3日(月)～2月5日(水)
- 駐車場 岐阜県百年公園駐車場をご利用ください。
駐車料金・・・普通(軽)自動車300円 バス820円

交通案内



- ・東海北陸自動車道 関インターから車5分
- ・岐阜バス (小屋名バス停下車徒歩20分)
※岐阜駅方面からは、岐阜バスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください (岐阜関線、岐阜美濃線)
※関駅からは、関駅から徒歩5分の栄町1丁目バス停からご乗車ください (岐阜関線)
- ・岐阜バス・名鉄バス (赤土坂バス停下車徒歩25分)
※名古屋駅方面からは、名鉄バスセンターでご乗車ください (高速名古屋線)

お車でお越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場 (有料) をご利用ください。北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、北口ゲートでお申し出ください。